

会 告 目 次

会告目次	1
IPSJカレンダー	2
第40回通常総会の開催について	4
研究発表会開催通知	4
第18回プログラミング研究会	4
第88回マルチメディア通信と分散処理研究会	4
第90回グラフィクスとCAD研究会	5
情報処理学会第57回全国大会（会場：名古屋大学工学部）講演・デモセッションの募集について	7
「アルゴリズム特許の現状とその問題点シンポジウム」参加者募集	10
Call for Papers 「The Fourth International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS 99)」	24
情報処理学会論文誌査読委員	11
会員の皆様へのお知らせ・お願い（会員係）	12
支部だより	12
会議案内（協賛・後援）	14
第427回理事会	15
採録原稿一覧	15
新規入会者の紹介	15
平成10年度研究会登録申込書	17
平成10年度シンポジウム等行事予定一覧	18
情報処理学会第57回全国大会一般講演申込書	19
情報処理学会第57回全国大会デモセッション申込書	20
情報処理学会第57回全国大会講演ならびにデモセッション参加費送金連絡票	21
情報処理学会「行事」申込書	22
情報処理学会「書籍」申込書	23
寄贈図書一覧	10
事務局だより	16
入会のおすすめ	巻末



社団法人 情報処理学会
Information Processing Society of Japan

<http://www.ipsj.or.jp>

本誌共定価 1680円（本体1600円）

IPSIJカレンダー

行事名	会場名	開催日	参加締切	論文/応募締切	掲載頁	担当
第111回知能と複雑系研究会	情報処理学会	3月16日(月)	当日のみ		39-2 会14p	研
設計教育者のためのVHDL講習会	東大	3月16日(月) ～18日(水)	定員になり次第		38-12 23p	研
第67回情報システム研究会	東京工科大	3月17日(火)	当日のみ		39-2 会14p	研
情報処理学会第56回全国大会	中大理工学部	3月17日(火) ～19日(木)			39-2 全大	事
第110回コンピュータビジョンと イメージメディア研究会	川崎市産業振興 会館	3月19日(木)	当日のみ		39-2 会14p	研
第18回数理モデル化と問題解決 研究会	電通大	3月20日(金)	当日のみ		39-2 会14p	研
第61回アルゴリズム研究会	東芝	3月20日(金)	当日のみ		39-2 会15p	研
第47回コンピュータと教育研究会	情報処理学会	3月20日(金)	当日のみ		39-2 会15p	研
関西支部 平成9年度第2回ソフト ウェア研究会	関西情報センター	3月23日(月)	定員になり次第		39-3 14p	西
第18回プログラミング研究会	電通大	3月23日(月) ～24日(火)	当日のみ		39-3 会4p	研
連続セミナー97 データウェアハウス	工学院大	3月24日(火)	定員になり次第		38-11 15p	事
アルゴリズム特許の現状とその問題点 シンポジウム	東京農工大	3月24日(火)	3月19日(木)		39-3 会10p	研
The IEEE Third International Conference on Automatic Face and Gesture Recognition (FG '98)	Big Roof (奈良)	4月14日(火) ～16日(木)			38-8 21p	研
9th Int'l Workshop on Software Specification and Design (IWSSD-9)	伊勢志摩ロイヤル ホテル	4月16日(木) ～18日(土)			38-10 25p	研
第20回ソフトウェア工学国際会議 (ICSE 98)	京都国際会館	4月19日(日) ～25日(土)			39-2 本176p	国
Int'l Workshop on Aspect-Oriented Programming		4月20日(月)			38-10 25p	研
Software Engineering on Parallel and Distributed Systems (PDSE '98)		4月20日(月) ～21日(火)			38-10 25p	研
Int'l Symposium on Object-oriented Real-time Distributed Computing (ISORC '98)		4月20日(月) ～22日(水)			38-10 25p	研
東北支部 通常総会	東北大	4月22日(水)			39-3 13p	東
第88回マルチメディア通信と分散処理 研究会	三菱電機	4月23日(木) ～24日(金)	当日のみ		39-3 4p	研
第90回グラフィクスとCAD研究会	情報処理学会	4月24日(金)	当日のみ		39-3 会5p	研
九州支部 通常総会	九大	5月6日(水)			39-3 13p	九
北海道支部 通常総会	北大	5月7日(木)			39-3 13p	北
四国支部 通常総会	愛媛大	5月8日(金)			39-3 13p	四
東海支部 通常総会	愛知厚生年金 会館	5月12日(火)			39-3 13p	海
北海道支部 情報処理北海道 シンポジウム'98	北大	5月14日(木) ～15日(金)	定員になり次第		39-3 13p	北
関西支部 通常総会	関西情報センター	5月15日(金)			39-3 13p	西
第40回通常総会	ニューサテライト ホテル芝浦	5月20日(水)			39-3 会4p	総
1998年並列処理シンポジウムJSPP '98	名古屋国際会議場	6月 3日(水) ～5日(金)			38-10 26p	研
グラフィクスとCADシンポジウム	早大	6月12日(金) ～13日(土)		3月 6日(金)	39-2 会19p	研
マルチメディア, 分散, 協調とモーバ イル (DICOMO '98) シンポジウム	指宿岩崎ホテル	7月 8日(水) ～10日(金)		3月13日(金)	39-1 会9p	研
Asia Pacific Computer Human Interaction 1998 (APCHI '98)	Shonan Village Center	7月15日(水) ～17日(金)		1月31日(土)	38-9 29p	国
DAシンポジウム '98	遠鉄エンパイア ホテル	7月16日(木) ～18日(土)		3月11日(水)	39-1 会10p	研
画像の認識・理解シンポジウム (MIRU '98)	岐阜市未来会館	7月29日(水) ～31日(金)		1月17日(土)	38-11 27p	研

行事名	会場名	開催日	参加締切	論文/応募締切	掲載頁	担当
オブジェクト指向'98シンポジウム	東京都内	9月16日(水) ~18日(金)		4月10日(金)	39-1 会10p	研
情報処理学会第57回全国大会	名大	10月5日(月) ~7日(水)		6月26日(金)	39-3 会7p	事
論文誌特集号 「マルチメディア通信と分散処理」				5月1日(金)	38-11 28p	編
論文誌特集号 「ヒューマンインタフェースとインタラクション」				5月29日(金)	38-12 24p	編
論文誌特集号 「人文科学とコンピュータ」				8月31日(月)	39-1 会11p	編

注1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。

注2) 研究会の発表申込締切は開催日の90日前です。年間予定表および研究会発表申込書は2, 4, 8月号付録(会告)に掲載されています。

注3) 担当欄の記号は次のとおりです。研: 研究会係, 事: 事業係, 国: 国際係, 編: 編集係, 総: 総務係, 経: 経理係, 会: 会員係,
規: 情報規格調査会, 北: 北海道支部, 東: 東北支部, 海: 東海支部, 陸: 北陸支部, 西: 関西支部, 中: 中国支部, 四: 四国支部, 九: 九州支部。
各行事についての問合せ等は担当係までお願いします。

注4) 掲載頁欄の記号は次のとおりです。本: 本誌, 会: 会告(付録), 全大: 全国大会プログラム(付録)

●●●●○

第40回通常総会の開催について

第40回通常総会を下記により開催いたします。ぜひご出席ください。なお、総会の案内状は、正会員各位に4月中旬別途郵送いたします。ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

記

- 日時 平成10年5月20日(水) 16:00~17:40
 会場 ニューサテライトホテル芝浦 瑞祥の間(情報処理学会事務局隣)
- 総会次第
1. 会長挨拶
 2. 平成9年度事業報告および決算報告
 3. 平成10年度事業計画および予算審議
 4. 会費滞納会員の取扱いについて
 5. 名誉会員の推挙について
 6. 平成9年度功績賞の発表と表彰
 7. 平成9年度論文賞の発表と表彰
 8. 平成9年度Best Author賞の発表と表彰
 9. 平成9年度坂井記念特別賞の発表と表彰
 10. 平成10年度役員改選について
 11. その他

なお、総会終了後ささやかな懇親パーティ(無料)を行います。会員が一堂に会し、直接お話しができる得難い機会ですので、皆さまのご出席をお待ちしております。

総会へのご参加のお願い

社団法人の総会は、理事等の執行機関をチェックするとともに、本学会の基本的な運営方針を決定する最高意思決定機関です。そのため、会員の多数の意思が反映されるよう、定足数は過半数以上が望ましいとされています。通常総会への皆様のご出席をお待ちしています。また、出席できない場合は、必ず委任状をご送付くださるようお願いいたします。

●●●●○

研究発表会開催通知

(平成10年3月23日~4月24日)

◆第18回 プログラミング研究会 (発表件数:24件)

(主査:石畑 清, 幹事:伊知地宏, 上田和紀, 寺田 実)

前号(2月号)掲載の暫定プログラムの内容が確定されました。以下は日程等概要のみのご案内ですが、詳細はWWWホームページ<http://www.momo.it.okayama-u.ac.jp/~murakami/conf/pro98.html>をご参照ください。

- 日時 平成10年3月23日(月) 9:00~17:20
 24日(火) 10:00~14:20
 会場 電気通信大学 情報システム学研究科棟 大会議室(2F)(*会場詳細は前号参照)

議題

●特集:並列・分散処理

3月23日(月) *A, Bの平行開催

[9:00~12:00] セッションA:4件

[9:00~12:00] セッションB:4件

[13:00~16:40] セッションA:5件

[13:00~17:20] セッションB:6件

*特集のみ電子情報通信学会(コンピューターション研究会, ソフトウェアサイエンス研究会)と共催。

●一般発表

3月24日(火)

[10:00~12:00] 3件

[13:00~14:20] 2件

◆第88回 マルチメディア通信と分散処理研究会

(発表件数:15件)

(主査:滝沢 誠, 幹事:齋藤正史, 玉置政一, 東野輝夫)

日時 平成10年4月23日(木) 13:30~16:45

24日(金) 10:30~16:15

会場 三菱電機(神奈川支社)

[横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー

19F. JR(根岸線)または東急東横線:桜木町下車, 徒歩3分. Tel(045)224-2600(代表)]

議題

4月23日(木)

[13:30~15:00] ●セッション1(インターネット)

(1) PUSH型情報システムの構成法

森保健治, 竹内 格(NTT)

(2) WWW技術のTMNへの適用方式の提案とGDMO/HTML変換ソフトの実装

杉山敬三, 堀内浩規, 小花貞夫(KDD)

(3) WWWサーバ上でのカット点を利用した動画像情報検索・再生システム

川崎由起子, 鈴木 麗, 砂原秀樹(奈良先端大)

[15:15~16:45] ●セッション2(通信システム)

(4) 絵ことば通信システムの基本構想

木原民雄(NTT), 安齋利洋(アーティスト)

安田 浩(東大)

(5) Javaによるモバイルエージェントシステムの実装

三好 優(早大), Jung Euihyun, Jie JungHoon

朴 容震(漢陽大), 浦野義頼, 富永英義(早大)

(6) 携帯端末向けメッセージングシステムの開発

吉田玲子, 齋藤正史, 岡田伸輝(三菱電機)

4月24日(金)

[10:30~12:00] ●セッション3(通信方式)

(7) Group Communication Protocol for Distributed Replicated Objects

榎戸智也, 立川敬行, 松垣博章, 滝沢 誠(東京電機大)

(8) Context-Awareな情報環境による展示空間内コミュニケーション支援

江谷為之, 角 康之, Sidney Fels

間瀬健二(ATR)

(9) ソフトウェア分散開発に対する組織・プロジェクト二次元プロセスアセスメント方式の提案と実証評価

内藤俊文, 小泉寿男, 片岡信弘(三菱電機)

[13:00~14:30] ●セッション4(QoS)

(10) 遅延時間制御を行う通信品質サービスの実現

日下貴義, 菅野政孝(NTTデータ)

(11) 広域通信におけるTCPの高速化を目的とした輻輳回避手順の提案

三宅 優(KDD), 神崎昭浩(電通大)

加藤聡彦, 鈴木健二(KDD)

(12) 動画の品質劣化の許容度を考慮した帯域制御の方式

坂手寛治, 山口弘純, 東野輝夫, 谷口健一(阪大)

[14:45~16:15] ●セッション5(マルチメディア処理)

(13) Audio/Video Synchronization Methods for

Continuous Media Transmission Protocol

- 佐藤 純, 橋本浩二, 高坂幸春, 柴田義孝 (東洋大)
- (14) RSVPを用いたVoD配信システムモデルの提案
後藤幸功 (九大), 長野 央 (ドット・アスタ)
荒木二郎 (九大)
- (15) インターネット上でのマルチ映像伝送方式
野島晋二 (松下電器産業)

◆第90回 グラフィクスとCAD研究会

(発表件数: 8件)

(主査: 近藤邦雄, 幹事: 青野雅樹, 小堀研一, 斎藤隆文)

日 時 平成10年4月24日 (金) 13:00~17:15

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦)

[東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F. JR: 田町 (東口) 下車, 徒歩7分. または地下鉄 (浅草線, 三田線): 三田下車, 徒歩10分. Tel (03) 5484-3535]

議 題 テーマ: 仮想環境の生成と表示および一般

- (1) 仮想環境ラピッドプロトタイピングに適したVRスクリプト言語の開発 間瀬健二, Sidney Fels, 江谷為之 (ATR)
- (2) 仮想人間エージェントによるWWW上でのプレゼンテーション 乃万 司, 大石京治, 白鳥良男 (九州工大)
- (3) 仮想都市のためのL-systemによる道路網生成手法の検討 加藤伸子 (筑波技短大), 奥野智江, 岡野 紋 狩野 均, 西原清一 (筑波大)
- (4) 粒子ベースによる雲のビジュアルシミュレーション 菊地 司, 村岡一信, 千葉則茂 (岩手大)
- (5) 仮想空間の視覚的提示法とその効果 森本一成, 村田浩之, 伊津野匡 緒方誠人, 黒川隆夫 (京都工繊大)
- (6) 仮想手による様々な仮想道具利用のための知識とモデル 舟橋健司, 安田孝美, 横井茂樹, 鳥脇純一郎 (名大)
- (7) 3次元CGを用いた通信カラオケの開発 白井 豊, 徳永真志, 鈴木誠一, 大久保晴代 (松下電器)
- (8) 音楽を用いた3次元CGアニメーション 村田克之, 山内康晋, 土井美和子 (東芝)

研究会 論文募集

発表申込方法 研究会発表申込書の様式で, 発表題目, 発表者名 (登壇者に○), 略称所属, 概要 (50字程度), 発表申込者連絡先 (住所, 氏名, Tel, Fax, E-mail) を明記の上, 各研究会照会先までE-mailまたはFaxで直接お申し込みください。下記の研究発表会以外および特に指定がない研究会は, 事務局研究会担当宛 (E-mail: sig@ipsj.or.jp Fax(03)5484-3534) に開催日の3ヵ月前までにお申し込みください。

◆マルチメディア通信と分散処理研究会

日 程 平成10年6月3日 (水)・4日 (木)

会 場 大阪大学 基礎工学部

発表申込締切 平成10年3月31日 (火)

照会先 音川英之 (シャープ)

E-mail: otokawa@slab.tnr.sharp.co.jp
Tel(0742)65-0988 Fax(0743)65-1841

* 申込みいただいた電子メールには受理確認のメールを返信しますので, 必ずご確認ください。

◆オーディオビジュアル複合情報処理研究会

第21回研究会の発表論文を下記のとおり募集いたします。多数のご応募を期待しています。

日 時 平成10年6月5日 (金) 13:00~17:00 (予定)

会 場 早稲田大学 理工学部

議 題 テーマ: インターネット音声通信, およびマルチメディア一般

発表申込締切 平成10年3月27日 (金)

照会先 小谷野浩 (NTT)

E-mail: koyano@nttvdt.hil.ntt.co.jp
Tel(0468)59-2330 Fax(0468)59-2829

* 概要は200字程度でお願いいたします。

◆プログラミング研究会

本研究会では, 平成10年度から研究会論文誌の創刊にともない, 研究報告 (研究会資料) の廃止を中心として, 研究発表会および発表申込みの方法が大きく変更されます。発表申込みは, 研究会論文誌への投稿に直結しますので, 詳細は, WWWホームページ (URL-<http://www.ipsj.or.jp/sig/pro/>) をご参照のうえ, 本研究会の申込方法に従ってお申込みください。(投稿せずに発表のみを行うことも可能です。)

日 程 平成10年6月19日 (金)

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦)

議 題 特集: プログラミング言語の設計と実装
* 特集テーマ以外の一般発表も受け付けます。

発表申込締切 平成10年4月5日 (日)

発表論文原稿提出締切 平成10年5月28日 (木)

照会先 寺田 実 (東大)

E-mail: terada@sanpo.t.u-tokyo.ac.jp
Tel(03)3812-2111(ext.6280) Fax(03)3815-8356
URL-<http://www.sanpo.t.u-tokyo.ac.jp/~terada/sigpro1998-1.html>

1998年並列/分散/協調処理に関する 『長岡』サマー・ワークショップ (SWoPP長岡'98) 論文募集

◆計算機アーキテクチャ研究会 (ARC)

◆システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会 (OS)

◆ハイパフォーマンスコンピューティング研究会 (HPC)

◆プログラミング研究会 (PRO)

上記4研究会は, 「1998年並列/分散/協調処理に関する『長岡』サマー・ワークショップ (SWoPP長岡'98)」と題し, 並列/分散/協調処理を横断的なキーワードとして, 研究会を同時・連続開催いたします。各研究会の日程, 特集, 担当幹事, 発表申込先は下記のとおりです。発表をご希望の方は, 下記の方法にてお申込みください。多数の方々のご参加をお待ちしています。

日 程 平成10年8月4日 (火) ~7日 (金)

* 各研究会は発表件数に応じ, 上記日程の内1日, または2日に渡って並列・連続開催されます。詳細日程に関しては, 発表の申込状況によって変動する可能性があります。ご承知ください。

会 場 長岡産業交流会館 ハイブ長岡 (新潟県長岡市)

●各研究会特集、担当幹事および発表申込先

ARC：並列／分散／協調システムの支援アーキテクチャ技術と評価

担当・発表申込先：児玉 祐悦（電総研）
E-mail: swopp98-arc@etl.go.jp
Tel(0298)54-5878 Fax(0298)54-5881

OS：並列／分散／協調システムソフトウェア

担当・発表申込先：谷口秀夫（九大）
E-mail: swopp98-os@etl.go.jp
Tel(092)642-4052 Fax(092)632-5204

HPC：並列分散処理によるハイパフォーマンスコンピューティング技術

担当・発表申込先：朴 泰祐（筑波大）
E-mail: swopp98-hpc@etl.go.jp
Tel(0298)53-5518 Fax(0298)53-5206

PRO：並列／分散／協調プログラミング言語と処理系

担当・発表申込先：八杉昌宏（神戸大）
E-mail: swopp98-pro@etl.go.jp
Tel(078)803-1189 Fax(078)803-1218

●SWoPP発表申込方法

4月22日（水）より受付を開始いたします。（できるだけ電子メールでお願いします）。研究会発表申込書の様式で、発表題目、発表者名、略称所属、概要（46字以内）、発表申込者連絡先（住所、氏名、Tel、Fax、e-mail）をご記入のうえ、上記の発表希望研究会担当幹事宛に、電子メール、またはFaxで直接お申込みください。また、下記WWWホームページにてもお申込みいただけます。

詳しくは下記のメイリングリストおよびWWWにてもご案内いたします。また、同メイリングリストに登録されている皆様には、電子メールでの発表申込書式を送らせていただきます。

●プログラミング研究会での発表を希望される方へのご注意

標記研究会は、研究会論文誌の発刊にともない、研究発表会および発表申込みの方法が以前とは大きく変更されます。WWWホームページ（URL-<http://www.ipsj.or.jp/sig/pro/>）をご参照のうえ、標記研究会の申込方法に従ってお申込みください。

●SWoPPメイリングリストおよびWWWのご案内

・適宜案内を行う下記のメイリングリストへなるべくご登録ください。

（swopp-request@etl.go.jpまで「add moris@kuis.kyoto-u.ac.jp」のように、メールの本体に add に続けてご自分のメールアドレス（上の例では「moris@kuis.kyoto-u.ac.jp」）を記入して送付してください。または、helpとだけ書いたメールを送ってください。）

・SWoPPに関するご案内を随時、WWWホームページ <http://www.etl.go.jp/Meetings/SWoPP/>にて行っております。ぜひご覧ください。

・swopp-request の利用方法、その他お問合せはできるだけ電子メールでお願いします。

●SWoPP全体に関する問合せ先（参加方法等）

森眞一郎（京大） E-mail: swopp98-secretary@etl.go.jp
Tel(075)753-5383 Fax(075)753-5379

*SWoPP長岡'98の一環として、電子情報通信学会（コンピュータシステム研究会、フォールトトレラントシステム研究会）を同一会場にて連続・同時開催いたします。なお、発表申込等詳細につきましては、電子情報通信学会誌3月号をご覧ください。

◆グラフィクスとCAD研究会

夏の集中研究集会

インタラクティブ3次元CG・CADの基礎と応用

近年のハードウェア性能の劇的向上やインターネットの爆発的な広まりから、一昔前まで高価であった仮想現実アプリケーションやネットワーク上での対話型3次元CG・CADを身近に利用する機会が増え、またそのニーズも増加する傾向にあると言えます。そこで本年の集中研究集会では特集テーマとして対話性を高めるためのCG技術を指向し、インタラクティブ3次元CG・CADをテーマとして選定いたしました。関連するテーマ例を以下に示しますが、これらに限定せず、広い分野を対象とした活発な討論の場を提供したいと考えています。

- 対話モデリング技術：形状の簡略化、多重解像度表現、ダイナミックモデリング技術等
- 対話レンダリング技術：3次元物体高速表現、視点依存表示技術、対話型フォトリアルレンダリングなど
- マンマシンインタフェース：マルチモーダルインタフェース、モーションキャプチャリング応用、エージェントなど
- 仮想現実関連技術：臨場感通信、仮想協調作業、対話型ナビゲーション、VRML等

なお、本研究会では昨年同様、一部の発表に「ニューカマーズセッション」を採り入れます。すなわち、通例6ページとしている原稿ページ数を標準4ページとし、短めの発表時間、長めの討論時間を設定します。卒研学生、大学院学生、入社直後の社員等を想定し、新進気鋭の（自称を含む）若手研究者による萌芽的研究をいち早く学界に公表する機会を与えることを目的とするものです。

希望者は申込時に「ニューカマーズセッション希望」と明記してください。

日 程 平成10年8月27日（木）13：00～
28日（金）12：00

（発表件数により終了時刻は変更されます）

会 場 ホテルラフォーレ琵琶湖

[滋賀県守山市今浜町十軒家2876。Tel(077)585-3811。JR（東海道新幹線）京都駅より、JR（湖西線）：堅田下車、送迎バス（約10分）。またはJR（東海道本線びわこ線）：守山下車、タクシー（約20分）。]

宿 泊 費 18,500円（1泊2食（夕食は懇親会）／消費税・サービス税別）

発表申込締切 平成10年5月30日（土）

*できるだけE-mailでお願いします。

申込／照会先 平野 徹（ダイキン工業）

E-mail:hirano@elb.daikin.co.jp

Tel(077)565-3346 Fax(077)565-3353



情報処理学会第57回全国大会
(会場：名古屋大学工学部)
講演・デモセッションの募集について

第57回全国大会の一般講演、デモセッションを募集いたします。下記事項をご熟読の上、お申し込みください。

日程 平成10年10月5日(月)～10月7日(水)
会場 名古屋大学工学部(名古屋市中種区不老町)

A. 講演申込

講演資格 資格不問

申込方法

1. 本学会告掲載の「一般講演申込書」または「デモセッション申込書」に必要事項を記入して郵送でお申し込みください。(Faxは不可)
2. インターネットでのお申込みも可能です。この場合は、本学会ホームページ(<http://www.ipsj.or.jp>)をご参照ください。ただし、申込締切日当日は回線が混雑しますので、余裕をもってお申し込みください。また、インターネットでの申込みについては7月3日までに必ず受領メールを返信します。ご注意ください。
3. 連続講演または複数講演申込を希望する場合には内訳書を添付(書式自由)し、その旨明記の上まとめて提出してください。この場合インターネットでの申込は受け付けません。

講演内容

1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
2. 発表は日本語または英語とします。

講演参加費(1件につき)

1. 登壇発表者が正会員：9,450円 学生会員：5,250円(本学会ならびに電子情報通信、電気、映像情報メディア、照明の会員番号をお持ちの方もしくは本学会入会申請中の方)

2. 1. に該当しない方

一般：19,950円, 学生：9,450円

講演申込締切後、会費のお支払状況を含めて講演資格の審査を行いますのでご注意ください。

講演参加費の納入

1. 講演参加費は、講演申込時持参、郵便・銀行振込または請求書到着後平成10年9月18日(金)までに納入してください。

東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0003774

社団法人情報処理学会講習会

郵便振替 00150-4-83484

なお、講演参加費は、講演のキャンセルをされても返金いたしませんのでご注意ください。

2. 請求書を希望された方には7月上旬に発送となります。

講演申込締切 平成10年6月26日(金)必着

講演番号 申込受付終了後、該当分野キーワードによりプログラム編成を行い講演番号を決定します。講演番号決定後は発表セッション等の変更はできません。論文の該当分野キーワードは十分ご確認のうえご記入ください。

講演番号等の通知 申込受付後、講演番号・論文執筆要領・参加章引換券・学術情報センター用データシートを7月上旬に発送します。

B. 論文原稿

論文の提出

1. 論文は日本語または英語で3部提出してください。
2. 論文は1ページないし2ページとします。
3. 学術情報センター用データシートは記入要領に従い記入の上論文と一緒に提出してください。なお、データシートの著作権は学術情報センターと学会との共有です。
4. 講演論文集ならびにそのCD-ROMに収録された論文の著作権は本学会に帰属します。
5. 論文原稿提出後の訂正は一切取り扱いません。よく推敲して提出してください。
6. 原稿の返却はいたしません。

論文の採否 講演論文の採否は大会プログラム編成委員会が決定します。採択しないものはたとえば次のような場合です。

1. 論文の内容が著しく不十分なもの。
2. 内容が商業宣伝に偏したもの(極端な商品名の引用には注意する)。
3. 同一または類似の発表がなされており、かつ前進がないもの。
4. 応募規程に違反するもの。
5. 提出期限に遅れたもの(次回への応募をお勧めします)。

発表論文の別刷 作成しません。

講演論文提出締切 平成10年7月31日(金)必着

C. 講演者への注意事項

講演者心得

1. 講演の始まる前に、講演者受付で出席の確認を受け、自分の講演論文が掲載されている論文集(CD-ROM付)(無料)、大会プログラム(無料)および参加章を受け取ってください。
 2. 直前の講演者の講演時間中には、座長席の近くに設けられた講演者控え席で待機してください。
 3. 一般講演の時間は、質疑を含めて15分間とします。講演中でも持ち時間が切れれば打ち切ります。
 4. 講演終了予定時刻の5分前および3分前に座長補佐がベルで合図します。
 5. 講演の代理(読)は認めません。
 6. 講演のキャンセルは、会期前は本学会事業係までFaxまたは電子メールにて、大会会期中は総受付(電話番号は追って会告します)まで口頭で、すみやかにご連絡ください。
- AV機器の使用 OHP(透過型)は全講演者に対し準備いたします。これ以外の機器はお持ち込みください。

D. デモセッションについて

研究分野として、コンピュータの機器を直接利用して、聴講者に表示したほうがわかりやすい研究素材が存在すると考えられます。たとえば、GUI(Graphical User Interface)の研究、UI(User Interface)の研究、ワードプロセッサの研究、形態に関する研究、PDA、モバイルなど。また、学術的な内容にこだわらず商業ベース的なものも広く募集いたします。

発表形式：デモは1件の申込に対して1日単位で行えます。ポスターセッション形式で他のデモと平行に行います。講演発表(一般講演の15分)はできませんが、デモの内容を論文集に掲載します。講演発表をしたい場合には、デモセッション申込とは別に一般講演の申込を行ってください
デモセッション参加費：一般講演と同様です。(3日間通してデモを行いたい場合の参加費は、講演参加費×3日間となります)

デモセッションの開催日：下記の日程から選択となります。(日程は予定)

平成10年10月5日(月)9:00～17:00

10月6日(火) 9:00~17:00

10月7日(水) 9:00~17:00

その他デモセッションにかかる費用: 機器の搬入/搬出費, 設置費, 現地調整費, 展示の装飾費等は講演者, 発表者負担とします。

学会が支援する設備: デモブース, 電源, ネットワーク(10base/T)を予定しております。デモセッションを申し込まれる場合は所要の設備条件, スペース, レイアウト等(書式自由)を申込書の所定欄にご記入ください。不明点, 詳細は照会先にご相談ください。

注意事項: 全国大会の現地環境, 設備等の量的な制約がありますので, 申込みをいただいても対応できない場合はご容赦願います。デモセッションのプログラムは申込みをまとめた後に, 提示いたします。

E. 講演申込先

(電子メール) <http://www.ipsj.or.jp>をご参照ください。

(郵送) (社) 情報処理学会 事業係

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20

芝浦前川ビル7F

(持参) JR山手・京浜東北線田町駅芝浦側(東口)下車, 徒歩5分, 三和銀行右隣芝浦前川ビル7F

受付時間9:00~17:15

F. その他

大会プログラム 学会誌9月号(平成10年9月15日発行)ならびに本学会ホームページ(<http://www.ipsj.or.jp>)に掲載いたします。発表者は特にご注意ください。

表彰

1. 全国大会で発表された方のうち, 特に優秀な論文の登壇発表者10名前後を大会優秀賞として表彰します。また大会奨励賞として情報処理に関連する学術・技術の奨励のため, 学部卒10年までの新進の科学者または技術者の論文の登壇発表者10名前後を表彰します。
2. 大会優秀賞・大会奨励賞の対象者は, 本学会個人会員に限られます。

照会先 (社) 情報処理学会 事業係

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-16-20

芝浦前川ビル7F

E-mail:jigyos@ipsj.or.jp

<http://www.ipsj.or.jp>

Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

F. 該当分野キーワード

講演申込書の該当分野キーワードの欄には, 次のように記入してください。

例: アーキテクチャ(大項目)の設計自動化(中項目)のレイアウト合成(小項目)の場合は, 「1405」と書いてください。(該当分野キーワード参照)

1アーキテクチャ

1計算機アーキテクチャ

01計算機システムアーキテクチャ, 02アーキテクチャ全般(プロセッサ, 相互結合網, メモリ, 磁気ディスク, I/Oを含む), 03フォールトトレランス, リアルタイムシステム, 04ソフトウェアシステム(OS, コンパイラ, ツール)とのインタフェース, 05並列処理アーキテクチャ, 06並列処理

ハードウェア, 07 VLSIアーキテクチャ, 08専用プロセッサ(DSPなど), 99その他()

2システムソフトウェアとオペレーティングシステム

01システム性能評価, 02オペレーティングシステム全般(プロセス管理, メモリ管理, ファイルシステムを含む), 03 OS構成法, 04並列/分散OS, 05ネットワーク実現技術, 06ネットワークプロトコル, 07サーバ実現技術, 08リアルタイムシステム, 09言語処理系, 10ネットワークセキュリティ, 11モバイルコンピューティング, 99その他()

3ハイパフォーマンスコンピューティング

01計算科学(数値計算), 02シミュレーションの理論と実際(モデル化, アルゴリズム, 品質保証), 03高速・高性能システム(超並列WS), 04利用技術/性能評価と提言, 05計算と計算機を結ぶ技術(可視化, 言語, データ配置, 最適化, デバッグツール等), 99その他()

4設計自動化

01設計自動化技術(集積回路, 装置システム等), 02エレクトロニクス用DA/CAD, 03 HDL, 04論理合成, 05レイアウト合成, 06形式的検証, 07テスト, 99その他()

2ソフトウェア科学・工学

1アルゴリズム

01グラフやネットワークに関するアルゴリズム, 02計算幾何学と計算代数学, 03暗号系や認証のアルゴリズム, 04確率アルゴリズムと近似アルゴリズム, 05分散・並列アルゴリズム, ハードウェアアルゴリズム, 06データ構造, 07オートマトン・計算複雑度理論, 08オンラインアルゴリズム, 09文字列処理, 10アルゴリズムの応用と実用, 99その他()

2数理モデル化と問題解決

01数理モデル化全般と解法, 02オペレーションズリサーチ, 03グラフ理論やネットワークフロー理論, 04逆問題, 05モデル化の教育, 06各種モデルの応用, 07定式化, 99その他()

3ソフトウェア工学

01要求定義, 設計手法, 02形式的仕様, 03開発管理, 04メトリクス, 05検査, 検証, 06ソフトウェア開発支援環境やCASE, 07標準化, 08再利用, プログラム合成, 09人的要因, 教育, 10ソフトウェアプロセス, 11知識処理技術のソフトウェア工学への応用, 12品質, 13保守, 14リバースエンジニアリング, 15プロトタイプング, 99その他()

4プログラミング

01プログラミング言語の基本概念・設計原理・実装技術, 02各種プログラミング, 03プログラミング方法論(ビジュアルプログラミング等), プログラミング環境(処理系, ツール等), 04プログラミング技術(ガーベジコレクション等), 05並列化コンパイラ, 並列処理言語, 並列デバッグ, 06分散オブジェクト指向プログラミング(Java等), 99その他()

3人工知能と認知科学

1人工知能

01知識表現, 02推論・探索, 03学習, 04認知モデル, 05ニューラルネット, 06知識ベース, 07オントロジ, 08知識交換言語, 09エキスパートシステム, 10分散・協調AI, 11ファジー理論, 12パターン・自然言語の理解, 13知的インタフェース, 14 AIアーキテクチャ, 15複雑系, 16人工生命, 17生体情報処理, 18遺伝的アルゴリズム, 19知能メカニズ

ム関連研究と応用システム, 20エージェントモデル, 99その他 ()

2 自然言語処理

01言語理論, 02言語行動, 03言語資料・統計, 04辞書(レキシコン), 05言語コーパス, 06形態素解析, 07統語解析, 08意味解析, 09文脈解析, 10対話(システム), 11談話理解・語用論, 12知識表現, 13機械翻訳, 14自然言語処理ソフトウェア, 15自然言語インタフェース, 16校正支援, 99その他 ()

3 音声言語情報処理

01音声言語情報処理(音声の分析・加工・合成・認識・理解, 話し言葉の解析・解釈・生成), 02音声言語処理システム(ディクテーション, 音声対話, 音声翻訳), 03言語モデルと音声言語コーパス, 04音声インタフェースと音声応用, 99その他 ()

4 視覚情報処理

01視覚認識, 02視覚・映像メディア処理, 03画像処理, 04画像理解, 05物体認識, 06文字・図形の処理と認識, 073次元復元, 08ステレオ視, 09運動解析, 10距離解析, 11色彩解析, 12ロボットビジョン, 13画像処理プロセッサ, 14画像・ビデオ映像の知的編集および知的映像効果の生成, 15立体テレビ, 16人物画像処理, 99その他 ()

5 音楽情報科学

01計算機の介在した作曲・編曲・演奏・伴奏, 電子楽器, 02音楽信号処理, 03AIと音楽, 04音楽の認知・知覚・感性情報, 05音楽情報処理システム, 06音楽学や音楽芸術と計算機技術, 99その他 ()

4 データベースとメディア

1 データベース

01データモデル, 02データベース言語・DBPL, 03データベース設計・システム分析設計, 04一貫性制約・アクティブDB, 05DBMS, 06質問処理, 07トランザクション管理・OLTP, 08物理的記憶構造, 09信頼性・障害時回復・安全性, 10超並列DB, 11DB専用ハードウェア(RAIDなど), 12分散型DB・マルチDB, 13データウェアハウス, 14情報資源管理とリポジトリ, 15オブジェクト指向DB, 16マルチメディアDB(テキストDB・画像DB・動画像DB・VODなど), 17履歴DB・版管理, 18地理DB・空間データ管理, 19オフィス情報システム, 20グループウェアDB, 21エンジニアリングDB, 22サイエンティフィックDB・遺伝子DB, 23データベース発掘・知識発見, 24モバイルDB, 25DB高度応用, 99その他 ()

2 情報検索

01情報検索技術, 02シソーラス, 03ハイパertext・ハイパメディア, 04インターネットDB(エージェントなど), 05電子図書館, 06全文検索, 07ベンチマーク, 99その他 ()

3 メディアと情報

01情報の表現・識別・分類・評価・検索・流通・管理, 02情報概念体系, 03辞書・用語, 04大量情報の組織化, 05情報の知識化, 06マルチメディアコンテンツ創作・表現・編集, 07マルチメディアコンテンツ検索・流通・管理, 08メディア論, 09構造化記述(SGML, HTML, VRMLなど), 99その他 ()

5 ネットワーク

1 マルチメディア通信と分散処理

01分散処理, 02分散コンピューティング, 03高速通信, 04コンピュータネットワーク, 05マルチメディア通信とその応用, 06プロトコル, 07ネットワーク管理, 08エージェント通信, 09分散協調, 10インターネット, 11イントラネット, 12ネットワークセキュリティ, 99その他 ()

2 分散システム運用

01コンピュータネットワーク運用・管理, 02ダウンサイジング(クライアント/サーバ), 03ライセンスング, 04セキュリティ, 05教育・技術移転, 99その他 ()

3 マルチメディア符号化

01高品質・低ビットレート画像, 02音声信号処理, 03符号化システム, 04マルチメディアの国際標準化(MPEG, DAVIC等), 99その他 ()

4 モバイルコンピューティング

01移動体通信計算機環境(言語, OS, インタフェース等), 02携帯端末(アーキテクチャ, デバイス等), 03セキュリティ, 04移動体ネットワーク(アーキテクチャ, プロトコル, 管理運用等), 05無線ネットワーク(衛星通信, 無線LAN等), 06分散協調プロトコル, 07ユービキタスコンピューティング, 08モバイルエージェント, 09ロボットシステム, 10モバイルアプリケーション, 11モバイル社会システム, 99その他 ()

6 インタフェース

1 ヒューマンインタフェース

01計算機システムのインタフェース, 02マルチメディア/マルチモーダルインタフェース, 03コミュニケーションとインタフェース, 04協調作業のインタフェース, 05文書処理のインタフェース, 06認知情報処理, 07インタフェースデザイン技法, 08インタフェース評価法, 09知的ヒューマンインタフェース, 11感性情報処理, 12ヒューマンファクタ, 13障害者補助, 99その他 ()

2 グループウェア

01協調基礎(組織, 認知, 社会心理, 行動科学), 02グループ応用(意思決定, 協同設計, 発想, 教育), 03グループワークインフラ(ワークフロー, グループ通信), 04分散オフィス, 05マルチユーザのインタフェース, 06電子会議, 電子掲示板, 07事例, 08仮想環境におけるヒューマンインタラクション, 99その他 ()

3 グラフィクスとCAD

01形状モデリング, 02CGシステム, 03CG用モデリング(モーショキャプチャリングやフラクタル等), 04レンダリング, 05CG応用(アニメーション, イラスト等), 06CAD/CAMシステム, 99その他 ()

4 仮想現実感

01センサ(磁気, 超音波, 生体信号等), 02感覚提示技術(視覚, 聴覚, 力覚等), 03仮想環境とシミュレーション, 04仮想物体の操作, 05コミュニケーション技術, 06臨場感通信とテレプレゼンス, 07AR(強化された現実), 08応用事例, 99その他 ()

7 コンピュータと人間社会

1 情報システム

01情報システムの分析・設計・構築・運用と利用, 02情報ニーズ, 情報・データの管理などの理論と実際, 03情報システムと人間・組織・社会との相互関連, 04情報システムのマネジメント(情報システム監査, 危機管理など), 05産業分野への応用, 06公共分野(社会)への応用, 07企業経営と情

- 報システム, 08新しい情報技術(インターネット, モービルなど)の活用, 99その他()
- 2コンピュータと教育・学習
01情報教育, 02CAI・教育工学, 03カリキュラム, 04教育システム, 05教材開発支援ツール, 06コンピュータリテラシ, 07アミューズメント, 99その他()
- 3コンピュータと社会
01人文・社会科学における情報処理, 02博物館・美術館における情報処理, 03マルチメディアシステムの応用, 04知的所有権, 05情報の社会的側面, 06情報倫理, 07防災と情報, 99その他()
- 4医療分野への応用
01基礎医学, 02臨床医学, 03社会医学, 04医療情報システム, 05歯学, 06薬学, 99その他()
- 5企業活動への応用
01電子商取引, 02CALS, 03コンカレントエンジニアリング, 04システムインテグレーション, 05生産スケジューリング, 06意思決定支援システム, 99その他()
- 6標準化
01規格・標準化, 99その他()
- 8その他



行事No. S-MPS98

「アルゴリズム特許の現状とその問題点
シンポジウム」参加者募集

本学会の主たる研究対象である情報処理技術は、高度な知的活動の産物です。知的活動に対しては、活動者の権利が保護され、正当な報酬が支払われるべきであります。このような考えから、現代社会では知的所有権(著作権, 特許権)を保護する法律が整備されています。

ところが、近年の情報技術の進歩は、現行法体系が想定していない状況を生み出しています。法律によっては権利が保護されない場合や、知らないうちに他人の権利を侵害してしまう場合が生じています。また、これまで想定されなかった産物に対する権利の主張も現れてきました。その極端なケースとして、アルゴリズムに対する特許の主張があります。

アルゴリズムに特許権を認めるかどうかについては、線形計画法に関する内点法のアルゴリズム以来、論争が続いています。この問題を法律の問題として論ずることはもちろん重要ですが、研究者・技術者として、社会をどのようにリードしていくかという視点も重要であると思われます。

このような観点から本シンポジウムを企画しました。プログラムには、アルゴリズム特許に対する賛成・反対双方の立場の講演が含まれております。また、研究者・技術者の立場からの講演と法律専門家の立場からの講演も含まれています。

多数の方々の参加をお待ち申し上げます。

日時 平成10年3月24日(火) 10:30~16:20
会場 東京農工大学 工学部 10号館 多目的会議室
(東京都小金井市)
*参加申込の方には詳細を後日送付。
主催 情報処理学会 数理モデル化と問題解決研究会
協賛 日本オペレーションズ・リサーチ学会

参加費 会員(含協賛学会):8,000円, 学生:3,000円,
非会員:15,000円(いずれも論文集代を含む)
論文集のみ 4,000円(送料, 消費税込)
申込方法 本学会告欄または学会ホームページの行事申込書
にてお申込ください。
申込締切 平成10年3月19日(木)
申込/照会先 情報処理学会 シンポジウム係
〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20
芝浦前川ビル7F E-mail:sig@ipsj.or.jp
Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534
http://www.ipsj.or.jp/sympo/mgyoji.html

プログラム

- [10:30~10:45] 主催者挨拶 中森眞理雄(農工大)
[10:45~11:30]
・アルゴリズムの多様性と特許の可能性 苗村憲司(慶大)
[13:00~16:15]
・アルゴリズム特許の必要性と実例 二村良彦(早大)
・アルゴリズム特許と数理工学 今野 浩(東工大)
・アルゴリズム発明の報酬 前田英次郎(ラボ・テリー)
・アルゴリズムと特許 筒井邦恵(日本総合研究所)
[16:15~16:20] 主催者挨拶 中森眞理雄(農工大)

寄贈図書一覧

- (98-3) 滝沢 誠, 桧垣博章, 立川敬行(著): "TCP/IP入門技術講座", 208p, (株)ソフト・リサーチ・センター, (1998-1): 2,800円+税
(98-4) 日本生物物理学会シリーズ・ニューバイオフィジックス刊行委員会(編): "脳・神経システムの数理モデル-視覚系を中心に", 167p, 共立出版(株), (1997-12): 3,400円+税
(98-5) 秋山 稔(著): "情報交換システム", 209p, 丸善(株), (1998-1): 3,100円+税
(98-6) 三井信雄(著): "見えない国 見えないルール", 237p, ダイヤモンド社, (1998-2): 1,600円+税
(98-7) David Salomon(著): "Data Compression", 427p, Springer-Verlag, (1998): 7,590円

情報処理学会論文誌査読委員

相沢 輝昭	合田 憲人	相田 仁	相吉英太郎	赤間 清	清 稔	久和 久明	末吉 杉浦	敏則 洋	菅沼 明	菅野 政孝	菅原 研次
秋山 泰	阿草 清滋	阿久津達也	浅井 清	浅田 英樹	英樹 早苗	杉原 正顯	杉本 則久	重雄 一郎	健司 均	健司 均	厚吉 健二
浅野 孝夫	阿達 淳	芦原 憲広	東 基衛	麻生 早苗	早苗 高志	鈴木 千里	春原 猛	仙波 利久	住田 一男	宏正 博久	正幸 浩之
麻生川 稔	安達 真家	安部 憲広	安倍 正人	甘田 荒野	高志 隆也	須田 礼仁	仙波 利久	利久 直久	曾根 光男	世木 曾和	関 浩之
天野 要	天野 真家	天野 英晴	雨宮 真人	荒野 高志	高志 隆也	関口 智嗣	高木 高橋	高木 高橋	曾根 光男	曾和 高藤	高岡 忠雄
荒牧 重登	有川 節夫	有木 康雄	有澤 博	有田 隆也	智 尚志	高木 高橋	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
安生 健一	安藤 秀樹	飯島 純一	飯田安津夫	五十嵐 智	尚志 尚志	滝沢 誠	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
五十嵐正夫	五十嵐善英	池坂 守夫	池田 克夫	池田 尚志	尚志 尚志	竹谷 誠	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
池原 悟	池辺八洲彦	石浦菜岐佐	石川 博	石崎 俊	俊 尚志	多田村克己	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
石畑 清	磯部 祥志	磯道 義典	井田 哲雄	板野 正徳	正徳 正徳	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
市川 周一	一杉 裕志	市野 学	井手口哲夫	出澤 秀昭	秀昭 秀昭	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
伊藤 潔	伊藤 紘二	伊藤 貴康	伊東 利哉	伊藤 乾	乾 伸雄	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
伊藤 英則	伊藤 実	稲垣 耕作	稲垣 康善	乾 伸雄	伸雄 伸雄	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
井上 克巳	井上 克郎	井上 謙藏	猪原 茂和	今井 桂子	桂子 桂子	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
今井 敏行	今井 浩	今泉 貴史	岩下 英俊	岩瀬 正	正 正	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
岩井原瑞徳	岩崎 一彦	岩崎 英哉	岩間 一雄	上杉 利明	利明 利明	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
岩田 彰	岩田 洋夫	植村 俊亮	魚田 勝彦	浮田 輝彦	輝彦 輝彦	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
上野 修一	上原 邦昭	白井 支明	打浪 清一	内平 直志	直志 直志	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
牛島 和夫	牛島 照夫	宇津宮孝一	宇野 栄	梅尾 博司	博司 博司	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
宇都宮公訓	宇都宮直樹	梅山 伸二	江崎 修司	越後 富夫	富夫 富夫	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
梅谷 征雄	梅村 護	梅山 伸二	江崎 修司	越後 富夫	富夫 富夫	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
江原 暉将	海老原義彦	大岩 元	大久保英嗣	大須賀節雄	節雄 節雄	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
大澤 暁	大沢 裕	大須賀昭彦	大須賀節雄	太田 和夫	和夫 和夫	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
大竹 和雄	大槻 説乎	大西 淳	大西 昇	大野 旬郎	旬郎 旬郎	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
大野 義夫	大崎 和仁	大本 英徹	大森 健児	大山 達雄	達雄 達雄	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
大山口通夫	岡崎 彰夫	岡崎 芳	岡崎 直宣	岡田 謙一	謙一 謙一	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
岡田美智男	岡田 稔	岡田 康行	岡村 耕二	岡本 栄司	栄司 栄司	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
岡本 龍明	岡本 久	小川 克彦	小川 瑞史	奥田 亮輔	亮輔 亮輔	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
奥富 正敏	奥乃 博	奥村 学	小倉 武	小倉 敏彦	敏彦 敏彦	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
小澤 一雅	小沢 年弘	小沢 正典	小鹿 丈夫	落水浩一郎	浩一郎 浩一郎	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
尾内理紀夫	尾翁長 健治	小野 令美	小野 寺民也	小野 秀俊	秀俊 秀俊	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
小柳 滋	小柳 義夫	折原 良平	甲斐 宗徳	海尻 賢二	賢二 賢二	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
嘉数 侑昇	角川 裕次	角田 良明	角田 博保	笈 捷彦	捷彦 捷彦	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
笠原 博徳	鍛冶 勝三	梶原 誠司	梶原 信樹	柏山 正守	正守 正守	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
片岡 良治	勝野 裕文	勝山光太郎	勝山 恒男	加藤 朗	朗 朗	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
加藤 和彦	加藤 直樹	金崎 克己	金田 康正	金子 健一	健一 健一	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
金森 吉成	金子 敬一	金子 豊久	金子 務	金谷 正秀	正秀 正秀	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
金田悠紀夫	加納 弘	上林 憲行	上村 務	亀田 壽夫	壽夫 壽夫	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
唐津 修	唐津 治夢	川合 慧	河合 利幸	川合 英俊	英俊 英俊	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
河口 英二	川口喜三男	川越 恭二	川崎 淳	川田 圭一	圭一 圭一	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
川戸 信明	川西 宏	河場 基行	川森 雅仁	菅 隆志	隆志 隆志	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
木澤 誠	岸 知二	岸本 光弘	喜多 泰代	北上 始	始 始	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
北川 高嗣	北川 博之	北橋 忠宏	北村 泰彦	喜連川 優	優 優	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
絹川 博之	紀 一誠	木下 研作	木下 恂	木下 俊之	俊之 俊之	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
木下 佳樹	木村 泉	木村 宏一	木村 康則	清水 秀士	秀士 秀士	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
久世 久資	香沢淳之助	工藤 知宏	久野 靖	保 明	明 明	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
久保田光一	熊沢 逸夫	倉田 政彦	栗原 定見	樽松 明	明 明	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
黒川 利明	黒沢 由明	黒田 満	桑名 栄二	郡司 隆男	隆男 隆男	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
小池 英樹	小泉 寿男	古宇田フミ子	河野 真治	大和 正貴	正貴 正貴	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
小暮 潔	越川 和忠	小嶋 弘行	五島 正裕	奥水 大和	大和 大和	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
児玉 祐悦	小藤 俊幸	後藤 厚宏	小長谷明彦	小畑 正貴	正貴 正貴	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
小林孝次郎	小原 和博	小堀 研一	小山 照夫	近藤 邦雄	邦雄 邦雄	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
近谷 英昭	最所 圭三	斉藤 制海	斉藤 正史	元司 正夫	正夫 正夫	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
坂井 修一	酒井 博敬	境野 英明	坂上 真	坂部 俊樹	俊樹 俊樹	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
榊原 康文	坂下 善彦	坂田 史郎	櫻井 貴文	佐々木建昭	建昭 建昭	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
坂村 健	佐川 雄二	櫻井 幸一	佐藤 健	佐藤 幸男	幸男 幸男	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
佐々 政孝	佐藤 和洋	佐藤 健	佐藤 三久	塩原 潔	潔 潔	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
佐藤 文明	佐藤 雅彦	佐藤 充	塩野 充	悦哉 明	明 明	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
佐藤 充	澤井 秀文	柴田 義孝	嶋津 好生	嶋津 明	明 明	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
篠原 能材	嶋津 好生	嶋津 明	尺長 健	首藤 公昭	公昭 公昭	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
島崎 眞昭	嶋津 好生	嶋津 明	尺長 健	首藤 公昭	公昭 公昭	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
下辻 成佳	白石 博	白石 博	白鳥 則郎	進藤 達也	達也 達也	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修
白井 良明	白石 博	白石 博	白鳥 則郎	進藤 達也	達也 達也	田中 義一	高橋 武市	高橋 武市	高木 高橋	高藤 高橋	高橋 修

山上 俊彦	山口 和紀	山口 高平	山崎重一郎	山崎 勝弘
山下 博之	山下 正秀	山名 岳志	山名 早人	山本 彰
山本 和彦	山本 強	山本 裕之	山本 昌弘	湯浅 太一
横井 茂樹	横内 寛文	横尾 真	横川三津夫	横澤 一彦
横田 隆史	横田 治夫	横田 将生	横矢 直和	吉澤 康文
吉田 和幸	吉田 敬一	吉田 幸二	吉田 将	吉田 年雄
吉田 紀彦	吉原 郁夫	吉村 一馬	吉村 賢治	吉村 ミツ
吉本富士市	依田 文夫	米田 友洋	六沢 一昭	若菜 忠
若林 一敏	脇田 建	和田 英一	和田 健一	和田 耕一
和田 幸一	渡辺 勝正	渡辺 崇	渡辺 坦	渡辺 俊典
渡辺 豊英	渡辺 正信	渡辺弥寿夫	F.M. キッシュ	
M.J. マクドナルド				



会員の皆様へのお知らせ・お願い

【口座自動振替登録者の方へ】

平成10年度会費および購読費を3月27日(金)に振替させていただきます。

預金残高をご確認いただき、振替額不足にならないようご注意ください。振替された場合には、通帳へ以下のように記帳されます。

- ①銀行口座登録の方：「ダイヤモンドファクター」「コウザフリカエ」「DF・ジョウショカイヒ」
- ②郵便局口座登録の方：「会費 ジョウショガツカイ」

【新入会勧誘のお願い】

本学会に入会ご希望の方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。関連学会の電気・電子情報通信・照明・映像情報メディア各学会会員の方が正会員として入会をご希望の場合、在会証明書を入会申込書に添付されますと入会金(2,000円)が免除になります。

WWW (<http://www.ipsj.or.jp/>) からの入会申込みも可能です。最新の活動内容をご案内しているホームページもあわせてご覧ください。

「入会申込書」は付録会告：奇数号巻末に、「入会のおすすめ」は当月付録会告：巻末に掲載しております。

また、賛助会員(1口5万円：口数により優遇あり)・購読員等の申込をご希望の場合には、下記宛にご連絡ください。

【機関誌等の送付先変更について】

毎年2月から5月にかけては、就職・進学・転勤・引越し等会員の異動があるため、宛先不明で機関誌が返戻されることが多くなります。送付先住所等に変更が生じた場合には、早急に「変更連絡届」(付録会告：偶数月号巻末添付)等書面にて下記宛にご連絡ください(E-mail, Fax可)。毎月20日締切で、翌月号から変更します。

なお、停止期間中のバックナンバーは残部のある場合に限り送付いたします。あらかじめご了承ください。

また、住所不明等の理由から連絡がとれず会費が滞納となり、除名に至る場合もありますので、機関誌が届かないなどご不明な点がございましたら下記まで早めにお問い合わせください。

本年2月2日より施行されている郵便番号の7桁化に伴っての変更届をいただいておりますが、事務局のシステム移行が完了次第、導入する予定です。しばらくの間5桁表示の宛名となる旨をご了承ください。

【会員資格等について】

会員資格(3月末卒業予定の学生会員の方は、4月より正会員に昇格)および論文誌購読は、毎年度(4月～翌年3月)自動継

続となります。学生会員を継続希望される方は学歴データ(学校名・学科名・卒業予定年月)を書面にて下記宛にご連絡ください(E-mail, Fax可)。

退会を希望される方は、会員番号・氏名・退会年月・退会希望の旨とその理由を明記したものを書面等にて会員係宛にご連絡ください(E-mail, Fax可)。なお、会費および論文誌購読費未納の方には、退会届受理後、別途退会精算の振込用紙を送付いたしますので、送付先住所等に変更がある場合には併記願います。

【銀行振込をご利用の方へ】

会費、購読費、参加費等を銀行振込される場合には、必ず別途送金詳細(振込人氏名、会員番号、振込日、振込先銀行、金額、内訳)を事務局にご連絡ください(E-mail, Fax可)。入金処理業務を正確かつ迅速に行うためにも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

照会/申込先

情報処理学会 会員係

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20

芝浦前川ビル7F

E-mail: mem@ipsj.or.jp

Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534



支部だより

情報処理学会支部連絡先

北海道支部：北海道大学工学部情報工学科内

〒060-8628 北海道札幌市北区北13条西8丁目

E-mail: saito@huie.hokudai.ac.jp Tel(011)706-6819

Fax(011)706-6819

東北支部：東北工業大学通信工学科内

〒982-8577 宮城県仙台市太白区八木山香澄町35-1

E-mail: mkojima@titan.tohtech.ac.jp

Tel(022)229-1151(ext. 368) Fax(022)228-0447

東海支部：NTTデータ通信(株)東海支社内

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-17-21 NTT DATA東銀ビル

E-mail: t-ipsj@tcp-ip.or.jp Tel(052)204-4517

Fax(052)204-4521

北陸支部：金沢工業大学内

〒921-8501 石川県石川郡野々市町扇が丘7-1

E-mail: abe@infor.kanazawa-it.ac.jp Tel(076)294-6708

Fax(076)294-6709

関西支部：(財)関西情報センター内

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8F

E-mail: infor-soci@kiis.or.jp Tel(06)346-2543

Fax(06)346-2443

中国支部：NTTコミュニケーションウェア(株)中国支社事業推進担当内

〒733-8645 広島県広島市西区商工センター2-6-1

E-mail: kamaura@chugoku.nttcom.co.jp Tel(082)278-7902

Fax(082)501-0472

四国支部：愛媛大学工学部内

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3

E-mail: yamada@cs.ehime-u.ac.jp Tel(089)927-9963

Fax(089)927-9973

九州支部：NTTデータ通信(株)九州支社総務担当内

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-17-21 NTT DATA博多駅前ビル

E-mail: arigam@kyr.nttdata.co.jp Tel(092)475-5123

Fax(092)475-5185

*各支部の最新情報は<http://www.ipsj.or.jp>からリンクしています。

平成10年度支部総会のご案内

各支部の通常総会が下記の通り開催されますので、ぜひご出

席ください。なお、各支部総会の案内状は、支部内の正会員各位に別途郵送されますが、ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

支 部	日 時	会場／講演会等
北海道	5月7日(木) 16:30~17:10	北海道大学工学部情報工学科会議室(札幌市北区北13条西8丁目)
東 北	4月22日(水) 16:10~17:00	東北大学工学部電気・情報系451・453室 ・講演 14:10~16:10 東北大学工学部電気・情報系101大講義室 「ヒューマンインタフェース技術の現状と将来」 竹林洋一氏(東芝)
東 海	5月12日(火) 14:30~15:10	愛知厚生年金会館(名古屋市千種区池下町2-63) ・講演 16:00~17:00 「情報符号化 その基礎と応用」後藤宗弘氏(岐阜大)
関 西	5月15日(金)	関西情報センター第1会議室(大阪市北区梅田1-3-1-800大阪駅前第1ビル8F)
四 国	5月8日(金) 14:30~15:00	愛媛大学工学部4号館(松山市文京町3番) ・記念講演会 15:10~16:40 寺田浩昭氏(高知工科大) ・懇親会 17:00~19:00 NTTプラザ松山(松山市清水町3-79)
九 州	5月6日(水) 14:00~	九州大学

*北陸、四国支部は次号に掲載します。

北海道支部 情報処理北海道シンポジウム'98 (-Info-Hokkaido'98-)

日 時 平成10年5月14日(木), 15日(金)
9:00~17:00
会 場 北海道大学学術交流会館(札幌市北区北8条西5丁目)

特別講演(聴講自由, 無料)

日時:平成10年5月14日(木) 13:00~14:30
演題:アプリケーション層で考えるデジタルネットワーク
講師:山本 強氏(北大大型計算機センター教授)

チュートリアル(有料)

日時:平成10年5月15日(金) 9:30~12:00
内容:インターネット環境におけるセキュリティ保全
講師:山口 英氏(奈良先端大助教授)
参加費:情報処理学会会員及び賛助会員 2,000円
一般 3,000円
学生(大学院生を含む) 1,000円

申込方法:電話, Fax, 電子メールまたは葉書で, 住所, 氏名, 電話番号, 所属学会, 勤務先または大学名・学科・学年を事務局まで連絡すること。申込みは, 開催日の1週間前まで。定員(50名)になり次第締切り。

一般講演(聴講自由, 無料)

日時:平成10年5月14日(木), 15日(金) 9:00~17:00
講演者:特に制限なし(登壇発表は1人1件とする)
講演内容:情報処理に関する最近行った研究および調査の報告, 新しい企画および開発の報告, 新製品(ソフトウェア, ハードウェア, システム)の紹介など。
講演時間:形式(1)15分以内(質疑応答時間を含む)
形式(2)30分以内(質疑応答時間を含む)
講演形式:OHPの使用のみとする。
講演予稿:オフセット印刷による。
公募原稿は所定のLaTeX形式を使用すること。
講演者には講演論文集を1部進呈する(別刷は取り扱わない)。
申込方法:講演申込書は所定のLaTeX形式を使用すること。
公募原稿及び講演申込書のLaTeXスタイルファイルは情報処理学会北海道支部のホームページ
(<http://ipsjh.huie.hokudai.ac.jp/ipsjh.htm>)からダウンロードして下さい。
講演参加費:予稿1頁につき2,000円(ただし, 4頁以内とする)
原稿提出締切日:平成10年4月6日(月)午後5時必着。講演申込書および原稿に講演参加費を添えて提出すること。
原稿提出先:情報処理学会北海道支部事務局

北海道支部 平成9年度北海道支部奨励賞の表彰

平成9年度北海道支部奨励賞は, 下記の5君に授与されました。

論文発表 情報処理北海道シンポジウム'97
平成9年5月7~8日 北海道大学学術交流会館
・Powered Armorの制御法に関する考察
西川大亮君(北海道大学工学部, 昭和49年4月29日生)
・水流のモデリングとレンダリングに関する研究
徳山哲朗君(北海道大学工学部, 昭和49年9月25日生)
・自己複製系における立体形状の進化
木下 誠君(北海道大学工学部, 昭和49年11月12日生)

論文発表 平成9年度北海道支部大会(電気関係学会北海道支部連合大会)

平成9年10月18~19日 北見工業大学
・手話表現位置生成法の検討
棚橋 真君(北海道大学工学部, 昭和42年9月12日生)
・分散型大規模行列計算における通信ブロックの軽減
松村博光君(北見工業大学工学部, 昭和49年9月6日生)

東海支部 平成9年度東海支部奨励賞の表彰

平成9年度東海支部奨励賞は, 電気関係学会東海支部連合大会における一般論文発表者857名(選考対象者538名)の中で, 平成10年1月26日(月)に「奨励賞・電気学会優秀論文発表B賞」として表彰された36名のうち, 情報処理学会所属の下記論文発表者5名に授与されました。(受賞者の所属は発表当時のもの)

論文発表 平成9年度東海支部大会(電気関係学会東海支部連合大会)

平成9年9月29~30日 愛知工業大学
奨 励 賞

・お勧めのホームページに関する情報の共有

杉井俊彦君 (三重大学工学部 1973年9月10日生)

・ π -計算に基づく処理系の構築

岩田眞典君 (名古屋工業大学知能情報システム学科 1975年5月16日生)

・マルチプロセッサ向き目的コードスケジューリングについて

松原義和君 (三重大学工学部 1973年12月16日生)

・レイアウトモデルに基づいた多様な棒グラフの構造認識

横倉直子君 (名古屋大学工学部 1972年6月17日生)

・漸進的な話し言葉翻訳のためのチャート解析手法

松原茂樹君 (名古屋大学工学部 1970年10月22日生)

関西支部 平成9年度第2回ソフトウェア研究会のご案内

日時 平成10年3月23日(月) 13:30~17:00

場所 関西情報センター 第1会議室
大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階
Tel(06)346-2543 Fax(06)346-2443

テーマ 「ネットワークソフトウェア」

- 講師 (1) MPOA仕様及びその標準化動向について
山野繁樹 (NEC)
(2) マルチメディア情報通信に向けたインテリジェントネットワーク技術
若本雅晶 (富士通研)
(3) インターネット管理のためのソフトウェア
門林雄基 (阪大)

定員 30名 (E-mail または Faxにて先着順)

参加費 600円 (資料代)。但し平成9年度本研究会に参加登録済み (登録費1000円) の方は無料です。

申込方法 所属機関名, 部課・役職名, 氏名, 会員番号, 連絡先電話番号, Fax番号をお書きの上, 電子メールまたはFaxにて下記宛お申し込み下さい。

照会/申込先

京都大学大型計算機センター研究開発部 岡部寿男
Tel(075)753-7428 Fax(075)753-7452
E-mail: ipsjsoft@c50050.sakura.kudpc.kyoto-u.ac.jp
URL: <http://www.users.kudpc.kyoto-u.ac.jp/~c50050/IPSJ-Ksoft/>



会議案内 (協賛・後援)

◆: 本会協賛・後援 1. 開催日 2. 会場 3. 照会先 4. その他

【国内会議】

◆第25回知能システムシンポジウム

- 平成10年3月19日(木)~20日(金) 2. 東工大長津田キャンパス (横浜市緑区) 3. (社)計測自動制御学会
Tel(03)3814-4121 Fax3814-4699

◆平成10年春季生涯教育講座

- 平成10年4月18日(土)~6月27日(土) 毎週土曜日
2. 機械振興会館 (都内港区) 3. (社)電子情報通信学会
Tel(03)3433-6691 Fax3433-6659

◆第17回シミュレーション・テクノロジー・コンファレンス

- 平成10年6月17日(水)~18日(木) 2. 成蹊大 (武蔵野市)
3. 日本シミュレーション学会 Tel(03)3239-4738 Fax3239-4717
E-mail: simul@pp.iij4u.or.jp

◆第3回知能メカトロニクスワークショップ

- 平成10年8月6日(木)~7日(金) 2. 和歌山大 (和歌山市)
3. 事務局 (和歌山大内) Tel(0734)57-8170 Fax57-8171
E-mail: morimoto@sys.wakayama-u.ac.jp

◆第16回ロボット学会学術講演会

- 平成10年9月18日(金)~20日(日) 2. 北大
3. (社)日本ロボット学会 Tel(03)3812-7594 Fax3812-4628

◆第14回ヒューマン・インタフェース・シンポジウム

- 平成10年9月28日(月)~30日(水) 2. 農工大 (小金井市)
3. 事務局 Tel(075)701-7391 Fax701-7211
E-mail: hio@hisol.dj.kit.ac.jp <http://www-hio.dj.kit.ac.jp>

【国際会議】

◆IEEE International Workshop on Robot & Human Communication (ROMAN'98)

- 1998年9月30日(水)~10月2日(金) 2. 高松商工会議所 (高松市) 3. 事務局 (香川大内) Tel(087)878-36-1771
Fax878-36-1792 E-mail: hata@eng.kagawa-u.ac.jp

◆International Conference on Quality Control by Artificial Vision (QCAV'98)

- 1998年11月10日(火)~12日(木) 2. 高松商工会議所 (高松市) 3. 事務局 (香川大内) Tel(087)878-36-1771
Fax878-36-1792 E-mail: hata@eng.kagawa-u.ac.jp

12th World Congress of Applied Linguistics (AILA'99)

- 1999年8月2日(月)~6日(金) 2. 早大 (都内新宿区)
3. 事務局 (サイマル内) Tel(03)3586-8691 Fax3586-4531

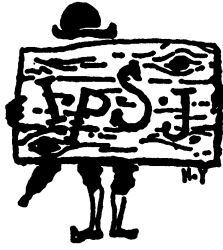
研究会登録について

研究発表会への年間を通して参加の場合, または研究会が配布する刊行物 (研究報告, 研究会論文誌等) を入手希望の場合には登録をお願いします。

*各研究会登録費および配布予定物等の詳細は, 研究会登録申込用紙 (新規) (学会誌2, 4月号別冊会告欄, または学会ホームページ (URL - <http://www.ipsj.or.jp/sig/touroku.html>)) をご参照ください。

*学際的な研究会への境界領域の方々を対象とした研究会登録手続きとして「研究会準登録者」制度を設けております。詳細は下記までお問合せください。

◆照会先 (社)情報処理学会 研究会係
〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
E-mail: sig@ipsj.or.jp
Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534



●●●●○

第427回理事会

日 時 平成10年1月22日(木) 17:30~21:10
 会 場 情報処理学会会議室
 出席者 戸田会長, 高橋, 堀越各副会長, 片岡信, 上林, 杉本, 杉山, 諏訪, 藤林, 村上, 片岡雅, 剣重, 坂井, 鈴木, 東田, 宮原各理事, 千葉, 林各監事
 (委任状による出席) 白鳥, 牧之内, 阪田, 水野各理事
 (事務局) 飯塚事務局局長ほか4名

議 題 (資料)

1. 承認事項

承-1 平成10年1月19日(現在) 会員入退会状況

正会員	26,885 (名)	} 28,677 (名)
学生会員	1,789	
海外会員	3	
賛助会員	433 (社)	

承-2 支部規約の改正について

承-3 平成9年12月分収支状況

承-4 国内会議協賛・後援等依頼

承-5 シンポジウム等の開催願い

承-6 情報規格調査会委員の変更

承-7 国際会議協賛・後援等依頼

以上7件を承認。

2. 審議事項

審-1 平成10年度事業計画概要

審-2 名誉会員の推薦

名誉会員候補者推薦基準にもとづき審議の結果, つぎの3名の推薦を決定した(会員番号順)。

室賀 三郎(イリノイ大)

山田 博(中京大)

関本 忠弘(NEC)

審-3 IPSJとIEEE/CSとの協力協定について

3. 報告事項

総-1 平成9年12月期開催会議

総-2 平成9年度第2回支部長会議の開催について

総-3 第40回通常総会の日程

日時 平成10年5月20日(水) 16:00~17:40

場所 ニューサテライトホテル芝浦(学会事務局隣)

総-4 平成10年度役員改選候補者名簿(会告原稿)

総-5 平成9年度功績賞委員会(第1回)

総-6 将来ビジョン推進委員会重点実施事項の進捗状況

機-1 第239回学会誌編集委員会/第4回学会誌編集会議事録(抜粋)

機-2 第225回論文誌編集委員会議事録(抜粋)

機-3 編集関連規程の改正案について

機-4 「外部出版社とのビジネス提携による編集・出版業務の事業化検討」に関する打合せ報告

事-1 第55回全国大会優秀賞・大会奨励賞最終選考報告

出-1 第20回英文図書出版委員会議事録

出-2 情報処理学会研究報告の所属webからの外部情報発信について

調-1 平成10年度研究会・研究グループのお知らせ

規-1 第124回規格役員会議事録(抜粋)

他-1 情報通信分野の研究に関する意見交換会

他-2 高度情報化支援ソフトウェアシーズ育成事業における研究開発テーマの募集について

●●●●○

採 録 原 稿

情報処理学会論文誌

平成10年2月の論文誌編集委員会で採録された論文は次のとおりです(カッコ内は受付年月日)。

◇Naohiko Noguchi, Yuji Kanno, Mitsuaki Inaba, Kazuaki Kurachi: New Indices for Japanese Text: A New Word-based Index of Non-segmented Text for Fast Full Text Search System (96.9.9)

◇森岡 道雄, 黒沢 憲一: 分散メモリ型マルチプロセッサ用キャッシュ一致保証方式の設計と評価 (96.10.30)

◇菅原 光政, 柴木 恒一, 宮崎 正俊: 板金加工における生産スケジューリングへの情報システムモデルの適用 (97.4.3)

◇中島 秀治, 加藤 恒昭: WWWブラウザとのマルチモーダルインタラクションクリックを使わないマウスの動きと音声を入力とするインタフェース- (97.4.21)

◇寺西 裕一, 種茂 文之, 梅本 佳宏, 寺中 勝美: 移動体計算機環境における位置依存情報提供システムの設計と実現 (97.5.12)

◇広瀬 雄二, 大駒 誠一: インターネット上のソフトウェア資源検索システムの設計と評価 (97.5.12)

◇普天間 智, 三嶋 正弘, 山口 英: ビデオ会議システムにおけるアプリケーション・ゲートウェイの実装と評価 (97.5.19)

◇中村 良三, Ningping Sun, Takuo Nakashima: An Approximate Analysis of the AVL Balanced Tree Insertion Algorithm (97.5.27)

◇長谷川 聡, 山住 富也, 小池 慎一: プログラミング教育における制御構造のイメージと理解度について (97.6.9)

◇金 偉其, 桂井 浩: 画素相関性を考慮した遺伝的アルゴリズムによる白黒濃淡画像の復元 (97.6.12)

◇五十嵐 健夫, 松岡 聡, 河内谷 幸子, 田中 英彦: 対話的整形による幾何学的図形の高速描画 (97.6.23)

◇木ノ内 誠, 萩原 将文: 複素リカレントニューラルネットワークを用いたメロディの記憶と想起 (97.6.30)

◇三浦 孝夫, 塩谷 勇: スキーマ発見のための型近似 (97.8.20)

◇山北 隆典, 富士 隆, 三枝 武男: 知的マルチメディアCAIにおけるWebページ統合モデルの提案 (97.8.28)

◇上原 邦昭, 麻植 周, 堀内 直明: ストーリーを考慮したビデオの内容記述モデル (97.8.29)

◇荒川 ゆう子, 増永 良文: 日本語音声によるリレーショナルデータベースアクセスの実現 (97.8.29)

◇森下 厚行, 北川 博之: 構造化文書とデータベースの統合利用のためのデータモデルNR/SD+とその問合せ処理 (97.8.29)

◇吉田 尚史, 清木 康, 北川 高嗣: 意味的連想検索機能を持つメディア情報探索システムの実現方式 (97.8.29)

◇波多野 賢治, 亀井 俊之, 田中 克己: 多段階自己組織化マップによるビデオ映像記述支援と類似シーン検索 (97.9.1)

◇山田 秀秋, 上原 邦昭, 田中 克己: VRMLの論理構造に基づく3次元画像検索エンジンの設計と実装 (97.9.1)

◇川原 稔, 河野 浩之, 長谷川 利治: 文献データベース情報検索に対するデータマイニング技術の適用 (97.9.1)

◇Wisut Sae-Tung, Tadashi OHMORI, Mamoru HOSHI: An Information Integration Architecture for Mobile Users in WWW Environment (97.9.2)

◇上島 紳一, 森下 淳也, 大月 一弘, 杉山 武司: 階層構造グラフを用いた半構造化データの構造化手法 (97.9.3)

●●●●○

新 規 入 会 者

平成10年2月の理事会で入会を承認された方々は次のとおりです(会員番号, 敬称略)。

【正会員】 合津 浩一, 会津 昌夫, 井口 涉, 伊東 克能, 大浜 多喜, 大林敬一郎, 大脇 文雄, 大矢野 潤, 大館 広之, 小田原宏明, 勝又 勇治, 加藤 岳久, 金澤 聡一, 亀井 俊男, 菊池 秀雄, 木村 義紀, 楠田 寿昭, 黒田 正博, 桑山 喜則, 栗本 直人, 小坂谷壽一, 越川 浩明, 鎌原 淳三, 齊藤 孝明, 坂口 明彦, 佐川 暢俊, 貞包 哲男, 佐藤 憲一, 清水 道夫, 関 洋, 杉原左右一, 佐藤 隆, 斎藤 了一, 新貝 御蔵,

菅瀬 君子, 竹中 豊文, 周 世創, 谷田 巨, 手塚 潤治,
武井 英明, 中尾 和夫, 中島 浩之, 西本 卓也, 羽田 裕,
藤田 育雄, 橋爪 宏達, 林 誠一郎, 林 祐司, 福原 英博,
橋本 創造, 平間 龍彦, 水野伸太郎, 宮川 寧夫, 町田正次郎,
森尻 智昭, 油谷 実紀, 吉沢 明康, 吉田 等明, 米田 進,
王 宏偉, 浅井 清, 中村 修一, 飯泉 純子, 上村 恵洋,
宮本 崇之, 古屋 聡一, 中村 慶久。(以上67名)

【学生会員】 石濱 雄志, 大本 周広, 小磯 健吾, 庄司 龍一,
新木 学, 鈴木賢一郎, 嵩西 淳, 田中 芳彦, 田端 利宏,
西村 克信, 平嶋 竜太, 服部 典弘, 藤田 一樹, 藤田 充典,
福宿 光徳, 藤原 雅宏, 宮中 宏, 横山 公二, 森口 秀一,
吉澤 有美, 吉川 裕之, 米山 英彦, 若狭 建, 和田慎二郎,
菅崎 幸一, 山崎 通弘, 宮内健太郎, ツーユ ビオレタ。
(以上28名)

【死亡退会者】

石川 博道 君 神奈川県藤沢市遠藤868-4-2-1-301
山田 正一郎君 大阪府堺市御池台2-6-22-102
ご逝去の訃音に接しここに謹んで哀悼の意を表します。

事務局だより

第40回の総会が近づいています。今年の総会は今月号の会告にも掲載されていますが、5月20日(水)に学会隣のニューサテライトホテル芝浦で開催されます。総会では学会の決算、予算の承認を始め、新年度の事業計画などを決定します。理事による学会運営を評価し、会員の皆様の意見を述べていただく、大切な集まりです。

ところが、実際の出席者は少なく、委任状を含めても正会員の4分の1程度です。全会員のうち、ごく一部の人の出席のみで重要な議案を審議している状況です。これは皆様が学会の運営に関心がないのではなく、それぞれの研究活動に忙しい人たちがばかりで、関心があっても出席する時間的余裕がないのではないかと考えています。

学会のような社団法人にとって、総会は最高の意思決定機関としてもっとも重要な場であるとされています(民法53条)。従って、できるだけ多くの会員の意思が総会に反映されなければなりません。情報処理学会では総会成立の定足数は正会員の7分の1としていますが、監督官庁では、最低でも正会員の2分の1とするよう指導しています。

このように大切な会議ですから、会員の皆様には是非総会にご出席いただきたいのです。総会では上記の案件の審議のほか、功績賞、論文賞、Best Author賞を始め、多数の表彰が行われます。また、終了後は学会の新旧役員や先達を囲んで懇親会も開催されます(参加は無料です!)

会場までお出掛けいただくのが無理な場合でも、少なくとも委任状は送っていただけるのではないかと思います。正会員の皆様には近く総会の案内状が送付されますから、総会に出席できない人は、必ず、案内状についている委任状を学会あてお送りくださいますよう、この欄を借りてお願いします。総会の開催についてご意見等がありましたら、お知らせください。
(土川佳男/総務部長)

平成10年度研究会登録申込書

フリガナ
氏名 _____

会員 No. _____

<コンピュータサイエンス領域>

申込	略称	研究会名	登録費 (税込み) (円)	登録による予定配布物		
				研究 報告	研究会 論文誌	その他
	DBS	データベースシステム	4,830	3冊	4冊予定	—
	SE	ソフトウェア工学	4,830	4冊	—	シボ 論文集
	ARC	計算機アーキテクチャ	4,935	5冊	—	—
	OS	システムソフトウェアとオペレーティング・システム	4,935	3冊	—	—
	DA	設計自動化	4,935	4冊	—	—
	HPC	ハイパフォーマンスコンピューティング	4,515	5冊	—	—
	PRO	※プログラミング	2,415	—	3~5冊	—
	AL	アルゴリズム	4,935	6冊	—	—
	MPS	数理モデル化と問題解決	3,675	5冊	3冊予定	—

登録申込: _____ 件

合計金額: _____ 円

請求書: 要 (部) ・不要

問合せ先

Tel () _____
(ext. _____)

<情報環境領域>

DPS	マルチメディア通信と分散処理	4,935	5冊	—	—
HI	ヒューマンインタフェース	4,515	5冊	—	—
CG	グラフィクスとCAD	4,200	5冊	—	—
IS	+情報システムと社会環境	3,990	3冊	—	コミュニケーション
FI	情報学基礎	4,095	4冊	4冊予定	—
IM	情報メディア	4,200	2冊	—	—
AVM	オーディオビジュアル複合情報処理	4,305	4冊	—	—
GW	グループウェア	3,990	4冊	—	—
DSM	分散システム運用技術	4,620	4冊	—	—
DD	デジタル・ドキュメント	4,830	6冊	—	—
MBL	モバイル・コンピューティング	4,200	4冊	—	—
CSE	*コンピュータセキュリティ	4,410	4冊	—	—

■申込方法・注意事項

- ・下線部に必要事項、登録希望研究会の申込欄に○印を記入ください。
- ・ご登録された方には当該研究会の配布内容が次の通り郵送されます。
研究報告：研究発表会開催翌月
研究会論文誌他：各会告を参照
(配布内容は変更される場合があります)
- ・郵送先は学会誌と同様となります。
変更等は書面にて会員係までご連絡ください。
- ・本申込書は新規登録の方専用です。

<フロンティア領域>

NL	自然言語処理	5,250	6冊	—	—
ICS	知能と複雑系	4,200	4冊	—	—
CVI	コンピュータビジョンとイメージメディア	5,040	5冊	—	—
CE	コンピュータと教育	3,990	4冊	—	—
CH	人文科学とコンピュータ	4,410	4冊	—	—
MUS	音楽情報科学	3,885	5冊	検討中	—
SLP	音声言語情報処理	4,830	5冊	—	—
EIP	*電子化知的財産・社会基盤	4,725	3冊	—	—

■申込/照会先

〒108-0023
東京都港区芝浦 3-16-20
芝浦前川ビル 7F
(社) 情報処理学会 研究会係
Tel (03)5484-3535
Fax (03)5484-3534
e-mail:sig@ipsj.or.jp

ト：「コンピュータセキュリティ研究会」と「電子化知的財産・社会基盤研究会」が新設されます。

※：「プログラミング研究会」は、従来の研究報告の代わりに研究会論文誌を研究会成果物として発行する新運営を行います。

ト：「情報システムと社会環境研究会(旧名称：情報システム)」は、研究報告の他に登録会員向けのコミュニケーション誌を発行予定です。

平成10年度 シンポジウム等行事予定一覧

(社) 情報処理学会 URL-<http://www.ipsj.or.jp>

平成10年度の主なシンポジウム等行事予定は以下のとおりです。詳細は順次学会誌会告欄にてお知らせいたします。なお、期日・会場等が変更されることもありますので、ご注意ください。

(平成10年2月23日現在)

名 称	開催日	場 所
○ソフトウェア工学国際会議併設シンポジウム (IWSSD)	H10. 4.16 (木) ~18 (土)	伊勢志摩ロイヤルホテル
○第20回ソフトウェア工学国際会議 (ICSE98)	H10. 4.19 (日) ~25 (土)	京都国際会館
●情報処理学会通常総会	H10. 5.20 (水)	ニューサテライトホテル芝浦
◆コンピュータ音楽チュートリアル (MUS)	H10. 5.	東京近郊
◆1998年並列処理シンポジウム (JSPP'98) (ARC 他)	H10. 6. 3 (水) ~ 5 (金)	名古屋国際会議場
◆グラフィクスとCADシンポジウム (CG)	H10. 6.12 (金) ~13 (土)	早稲田大学
◆DICOMO'98 シンポジウム (DPS, GW, MBL)	H10. 7. 8 (水) ~10 (金)	鹿児島県指宿
○アジア南太平洋州地域コンピュータインタラクション	H10. 7.15 (水) ~17 (金)	湘南国際村
◆DAシンポジウム (DA)	H10. 7.16 (木) ~18 (土)	遠鉄インパ [®] ヤホテル(浜松)
◆画像の認識・理解シンポジウム (MIRU'98) (CVIM 他)	H10. 7.29 (水) ~31 (金)	岐阜市未来会館
◆AVMシンポジウム (AVM)	H10. 7.	早稲田大学
○IFIP: ネットワーク時代の情報専門家教育国際会議	H10. 8.23 (日) ~28 (金)	国際婦人教育会館
◆音声認識システム講習会 (SLP)	H10. 8.	会津大 or 豊橋技科大
◆オブジェクト指向'98 シンポジウム (SE)	H10. 9.16 (水) ~18 (金)	東 京
◆ヒューマンインタフェースプロフェッショナル4 (HI)	H10. 9.11 (金) ~12 (土)	未 定
◆情報メディアシンポジウム'98 (IM)	H10. 9.24 (木) ~25 (金)	工学院大学
◇第57回全国大会	H10.10. 5 (月) ~ 7 (水)	名古屋大学
◆コンピュータセキュリティシンポジウム'98 (CSEC)	H10.10.29 (木) ~30 (金)	広 島
◆モバイルコンピューティングシンポジウム (MBL)	H10.10.	NEC (東京)
◆マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPS)	H10.11.18 (水) ~20 (金)	会津若松
◆グループウェア'98 シンポジウム (GW)	H10.11.27 (金)	東 京
◆コンピュータシステムシンポジウム (ARC, OS)	H10.11.	琵琶湖
◆ゲームとモデル化シンポジウム (MPS)	H10.12.14 (月) ~15 (火)	東京農工大学
◆アドバンスト・データベース・シンポジウム'98 (DBS)	H10.12.2 (水) ~4 (金)	工学院大学
◇プログラミング・シンポジウム	H11. 1.12 (火) ~14 (木)	箱 根
◆1999年情報学シンポジウム (FI)	H11. 1.13 (水) ~14 (木)	日本学術会議講堂
◆ウインターワークショップ (SE)	H11. 1.21 (木) ~22 (金)	和歌山
◆利用者指向の情報システムシンポジウム (IS)	H11. 1.28 (木) ~29 (金)	東洋大学
◆分散システム運用技術'99 (DSM)	H11. 2. 4 (木) ~ 5 (金)	東京大学
◆インタラクション'99 (HI, IM, GW)	H11. 3. 5 (金) ~ 6 (土)	東京工業大学

◆: 研究会主催 (英略称) ◇: 事業主催/プログラミング・シンポジウム ●: 総会 ○: 国際会議

情報処理学会第57回全国大会
一般講演申込書

掲載 ページ	
-----------	--

受付 番号	
講演 番号	

第57回全国大会に下記により講演申込をいたします。

標 題注1)					
フリガナ注1)	講演者				
著者名					
所属名					
該当分野 注2) キーワード	(1)	(1)	講演者 会員番号		
講演者申込区分 (該当欄に○印)	・本会 (正会員・学生会員・申請中 (/ 付)) (必ずご記入ください) ・他会員 (正会員・学生会員/電子情報通信・電気・映像情報メディア・照明) ・非会員・非会員学生				

注1) 学会誌および会場配布用の「プログラム」は本欄記入事項により作成しますので、提出後の題目、氏名の変更はできません。
 注2) 本会告の該当分野キーワードを参照し、できるだけふさわしい分野をご記入ください。優先順位順に複数分野を記入して結構です。

論文要旨 (150字程度)

--

講演発表用書類送付宛名

(楷書でハッキリ記入してください)	
送付先	_____
機関・部課名	_____
講演者氏名	_____ 殿
Tel	_____ (ext. _____) Fax _____
E-mail	_____

情報処理学会第57回全国大会
デモセッション申込書

受 番	付 号	
講 番	演 号	

掲 載 ペ ー ジ	
-----------------------	--

第57回全国大会に下記によりデモセッション申込をいたします。

標 題注1)					
フリガナ注1)	申込者				
著者名					
所属名					
該当分野 注2) キーワード	(1)	(2)	申込者 会員番号		
申込者申込区分	・本会（正会員・学生会員・申請中（ / 付））（必ずご記入ください。） ・他会員（正会員・学生会員／電子情報通信・電気・映像情報メディア・照明）・非会員・非会員学生				
デモ希望日 （複数可）	10/5, 10/6, 10/7	持ち込み予定の機器 （すべて持ち込みが原則）			
回線設備 使用の有無	有・無 回線種別：インターネット/ISDN/電話線		所要電源 容量・設備面積	（ ） KVA （ ） m ²	

注1) 学会誌および会場配布用の「プログラム」は本欄記入事項により作成しますので、提出後の題目、氏名の変更はできません。
注2) 本会告の該当分野キーワードを参照し、できるだけふさわしい分野をご記入ください。優先順位順に複数分野を記入してけ
こうです。

注3) デモは、1日について参加費1人分となりますので、3日間の場合はその3倍となります。

論文要旨（150字程度）

--

関連講演題目（関連する一般講演のある場合お書きください。）

--

デモ内容の要約原稿 用意する 用意しない (○で囲む)

デモセッション用書類送付宛名

(楷書でハッキリ記入してください)

送付先	_____
機関・部課名	_____
講演者氏名	_____ 殿
Tel	_____ (ext. _____) Fax _____
E-mail	_____

受付 番号	
----------	--

**情報処理学会第57回全国大会
講演ならびにデモセッション参加費送金連絡票**

この連絡票は講演参加費の入金を正確に把握するためのものです。下記の点に注意してご記入ください。

- 1件につき、5学会正会員は9,450円、学生会員は5,250円、一般非会員は19,950円、学生非会員は9,450円です。
注) 座長、プログラム委員および現地実行委員は無料です。
- 講演不採択の場合は、講演参加費は返却しますが、申込後講演キャンセルの場合は返却はしません。
- 事務の簡素化のため、現金持参以外の方はすべてこの用紙に記入してください。
- やむをえず銀行振込の場合は、所定の銀行口座にご送金ください。ご送金は講演発表者名をお願いします。
- 2件以上まとめて支払う場合には講演者氏名欄に各講演者名をまれなくご記入ください。(共著者名の氏名は記入しないでください。)
- 支払い件数が多く、下の票に講演者名が書ききれない場合は別紙(書式自由)を添付してください。
- 講演参加費には消費税が含まれています。

	5学会会員	5学会学生会員	非会員	非会員学生
講演者氏名	○	○	○	○
	○	○	○	○
	○	○	○	○
小計	円	円	円	円
合計金額				円

必要書類：請求書 通, 納品書 通, 見積書 通, 領収書 通

*必要のない方は空欄のままです。

送金方法： 郵便振替 (00150-4-83484) *該当箇所にレ印を付けてください。(専用振込用紙)
 銀行振込 東京三菱銀行
 (専用銀行口座：東京三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会 普通口座No.0003774)
 送金月日： 銀行 支店・ 郵便局から
 月 日 送金人名義：
 (未定の場合空欄のままです。)

通信欄：

(楷書でハッキリ記入してください)

講演参加費取扱者連絡先

〒

機関・部課名

フリガナ
氏名

Tel _____ (ext. _____) Fax _____

情報処理学会「行事」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

- ・ 行事No., 参加費, 論文集代につきましては会告各行事欄をご参照ください。
- ・ 欠席の場合も参加費は徴収させていただきます。
- ・ 会員の方は必ず会員No.を記入してください。記入されていない場合は非会員とさせていただきます。

申込者 (Aは該当番号に○)				
A: 会員/非会員	(1) 会員	(2) 主催研究会登録会員	(3) 学生	(4) 非会員
B: 会員No.			C: ご氏名	
D: 勤務先			E: ご所属	
F: 郵便番号	G: ご住所			
H: Tel			I: Fax	
J: E-mail				

送本先, 照会先などが異なる場合は下記に記入のこと
K:

申進行事	
L: 行事No.	
M: 参加費	円
N: 懇親会費	円
O-1: 論文集のみ	円
O-2: 論文集のみ	冊

アンケート* 宿泊付行事のみ記入 (部屋割参考)	
P: 性別	(1) 女性 (2) 男性
Q: たばこ	(1) すう (2) すわない
R: 年齢	(1) 20代 (2) 30代 (3) 40代 (4) 50代以上
S: 通信欄	

T: 支払方法 (該当番号に○)	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) *	
	(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) *	
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) *	
	(4) 現金持参	
	(5) 現金書留	
[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] * : 送金日が分かる場合, 記入のこと		
U: 送金名義人		
V-1: 請求書 通	V-2: 見積書 通	V-3: 納品書 通
W: 請求書記載名義		
X: 送金に関する照会先		

<p>申込先 (社) 情報処理学会 研究会/事業係</p> <p>〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F</p> <p>Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 E-mail:sig@ipsj.or.jp (研究会・シンポジウム)</p> <p style="text-align: right;">E-mail:jigyo@ipsj.or.jp (事業・全国大会・連続セミナー)</p> <p>*E-mailでの申込み: 各項目はカンマ (,) で区切り, (1) ... (5) は選択, その他は文字を記入のこと。</p> <p>[例] A: (1), B: 999999, C: 情報太郎, ... T: (1) (1月30日送金予定), U: 情報太郎, V-1: 1, V-2: 1, V-3: 1, W: (株) ××電気, ...</p>

情報処理学会「書籍」申込書
(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

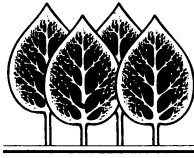
申込者					
A：会員／非会員	(1) 会員	(2) 学生会員	(3) 賛助会員	(4) 購読員	(5) 非会員
B：会員No.			C：ご氏名		
D：勤務先			E：ご所属		
F：ご住所	〒				
G：TEL			H：Fax		
I：E-mail					

送本先、照会先などが異なる場合は下記に記入のこと	
J：照会先／送本先	

「購入希望書籍」リスト			
書籍名／コード名	希望部数 (冊)	単価 (円)	金額 (円)
K-1-(a)：	K-1-(b)：	K-1-(c)：	K-1--(d)：
K-2-(a)：	K-2-(b)：	K-2-(c)：	K-2--(d)：
K-3-(a)：	K-3-(b)：	K-3-(c)：	K-3--(d)：
K-4-(a)：	K-4-(b)：	K-4-(c)：	K-4--(d)：
K-5-(a)：	K-5-(b)：	K-5-(c)：	K-5--(d)：
K-6-(a)：	K-6-(b)：	K-6-(c)：	K-6--(d)：

M：支払方法	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) *	
	(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) *	
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) *	
	(4) 現金持参	
	(5) 現金書留	
	[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] *：送金日が分かる場合、記入のこと	
N：送金名義人		
O-1：請求書 通	O-2：見積書 通	O-3：納品書 通
P：請求書記載名義		
Q：送金に関する照会先		

<p>申込先 (社) 情報処理学会 図書係 〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F E-mail:tosho@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 http://www.ipsj.or.jp/tosho.htmlからもお申し込みいただけます。 *E-mailでの申込み：各項目はカンマ (,) で区切り, (1) ... (5) は選択, その他は文字を記入のこと。 [例] A：(1), B：999999, C：情報太郎, ... K-1-(a)：情報処理Vol.38 No.3, K-1-(b)：1, K-1-(c)：1600, K-1-(d)：1600, M：(1) (1月31日送金予定), N：情報太郎, O-1：1, O-2：1, O-3：1, P：(株)××電気, ...</p>



The Fourth International Symposium on Autonomous Decentralized Systems

CALL FOR PAPERS

March 21-23, 1999
Tokyo, Japan

ISADS 99

Sponsored by:



Information Processing
Society of Japan



The Society of Instrument and
Control Engineers of Japan



The Institute of Electronics, Information
and Communication Engineers, Japan.

In Cooperation with:



International Federation for
Information Processing



International Federation of
Automatic Control



TINA - C

Manufacturing Science and
Technology Center, Japan

General Chair

Kinji Mori,
Tokyo Institute of Technology, Japan

Program Committee

Chair: Kane Kim, UC Irvine, USA
Co - Chair: Farokh B. Bastani, U. of Texas,
USA
Co - Chair: Shigenobu Kobayashi, TIT, Japan
Co - Chair: Luca Simoncini, CNUCE - CNR,
Italy

Anish Arora, Ohio State U., USA
Doo-Hwa Bae, KAIST, Korea
Sourov Bhattacharya, Arizona State U., USA
Andrea Bondavalli, CNUCE - CNR, Italy
Sujeet Chand, Rockwell, USA
Dan Cooke, U. of Texas, USA
Stefan Covaci, GMD - FOKUS, Germany
Partha Dasgupta, Arizona State U., USA
Paul Ezhilchelvan, U. of Newcastle, UK
Jean-Charles Fabre, LAAS-CNRS, France
Domenico Ferrari, U. of Cattolica, Italy
Gerhard Fohler, Malardalens Hogskola,
Sweden
Michel Gien, Chorus Systems, France
Seung - Koo Hwang, ETRI, Korea
Koiji Ito, TIT, Japan
Tohru Kikuno, Osaka U., Japan
Moon H. Kim, Konkuk U., Korea
Shinzo Kitamura, Kobe U., Japan
Hermann Kopetz, Tech. U. of Vienna, Austria
Robert Lai, IPC, USA
Chung Shyan Liu, Chung Yuan Christian U.,
Taiwan
Mike Liu, Ohio State U., USA
Edgar Nett, SET-GMD, Germany
Christos Nikolau, ICS - FORTH, Greece
Andras Pataricza, Tech. U. of Budapest,
Hungary
Yoshitaka Shibata, Toyo U., Japan
Andre' Schiper, EPFL, Switzerland
Richard Mark Soley, OMG, USA
Makoto Takizawa, Tokyo Denki U., Japan
Ahmed Tantawy, IBM Research, USA
Vicraj Thomas, Honeywell, USA
Bhavani Thuraisingham, MITRE, USA
Jeff Tsai, U. of Illinois at Chicago, USA
Kazuo Tsuchiya, Kyoto U., Japan
Paulo Verissimo, U. of Lisboa, Portugal
Feng Jian Wang, National Chao Tung U.,
Taiwan
Victor Winter, Sandia National Labs, USA

Operations Committee

Chair: Jushi Ide, Hitachi, Japan
Hideyuki Hayashi, Manufacturing Science
and Technology Center, Japan
Masami Ito, RIKEN, Japan
Toshiyuki Kitamori, Hosei U., Japan
Eiichi Ohno, Mitsubishi Electric, Japan
Masaharu Oku, Bridgestone, Japan
Nobuhide Suda, Hosei U., Japan
Shinichiro Yoshida, NTT, Japan

Steering Committee

Chair: Stephen S. Yau, Arizona State U.,
USA
Yoshikazu Nishikawa, Osaka Institute of
Technology, Japan
Masanori Ozeki, RTRI, Japan
Radu Popescu - Zeletin, GMD, Germany

Scope

Driven by the continuous growth in the power, intelligence and openness of computer, communication and control technologies, possibilities and opportunities for realizing highly efficient and dependable business and control systems have been steadily increasing. Dynamically changing social and economic situations demand next-generation systems based on emerging technologies and applications. Such systems are expected to have the characteristics of living systems composed of largely autonomous and decentralized components. Such systems are called Autonomous Decentralized Systems (ADS).

After the successful first, second, and third International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS) held in 1993 in Japan, in 1995 in the USA and in 1997 in Germany, the fourth ISADS will be held in Tokyo, Japan during March 21 - 23, 1999. ISADS 99 will primarily focus on advancements and innovation in ADS concept, technologies, and applications related to heterogeneous systems coping with evolving situations.

ISADS invites papers and panel proposals on the topics of the symposium that will foster interactions among researchers and practitioners in computer, communication, management, control and other related fields from academia, industry, and government.

The scope of discussions on ADS shall include, but not be limited to:

- Computer and communication architectures / intelligent network / Internet;
- Heterogeneous distributed information / control systems;
- Mobile agent / computer - supported cooperative works;
- Distributed software development and maintenance;
- Assurance, fault tolerance and on - line expansion;
- Object management architecture / design pattern / application frameworks;
- Emergent control and robotic systems;
- Novel applications: information service systems, manufacturing systems, real-time event management, office automation, traffic and transportation control, logistic systems, electric commerce, etc..

Plant tour is scheduled on March 24, 1999. Delegates are encouraged to participate.

Information for Authors

Papers should describe original work (not submitted or published elsewhere), and be 20 double-spaced pages (5,000 words) or less in length. Papers should include: title, authors, affiliations, 150-word abstract and list of keywords.

Identify the author responsible for correspondence, including the author's name, position, mailing address, telephone and fax numbers, and email address. One of the authors of each accepted paper must present the paper at ISADS99.

Information for Panel Organizers

Panel proposals should include: title, organizer's affiliations, position, mailing address, telephone and fax numbers, email address, and 150- word statement on the scope, proposed chair and panelists.

Submission Address

Authors and panel organizers are requested to submit their manuscripts electronically in the Microsoft WORD document file format, the PDF format, or the Postscript format, and also email the abstract and the full addresses of the author(s) to the following address:

via FTP : site: dream.eng.uci.edu login ID: anonymous password: the submitter's password
After the login, change the directory to "isads99-submit" and deposit the paper.

The directory "isads99-submit" is a write-only directory and thus one cannot see the listing of files in that directory.

via email: isads99@dream.eng.uci.edu

General Information

For general information, see our World- Wide Web: <http://kitalab.dis.titech.ac.jp/isads99/index.html>, or **send your notification of interest** (including name, affiliation, postal and email address and, if possible, the provisional title of your paper) to ISADS 99 secretariat, Japan Travel Bureau, Inc., Email: ISADS99@itd.jtb.co.jp Fax: +81 - 3 - 5620 - 9499

The proceedings of the symposium will be published by IEEE Computer Society Press.

Important Deadlines

August 1, 1998: All paper and panel proposals due.

September 26, 1998: Authors and panel organizers notified of acceptance

December 29, 1998: Camera - ready copies of accepted papers and panelists' position papers due.



情報処理学会

Information Processing Society of Japan

入会のおすすめ

本会は、1960年の設立以来、めまぐるしく発展する情報処理分野のパイオニアとして、学界・官界および産業界の協力を得て、この分野において指導的役割を果たすべく活動しております。

21世紀に向け、学術・技術の研究活動をさらに一層活発に進め、多くの会員とともに、引き続き情報処理分野における最大の学会としての責任を自覚しつつ、その役割を果たしてゆくつもりです。また、これらの成果を機関誌、研究会、全国大会などの集まりを通じて、またインターネットを通じて広く世界に発表し、社会と文化の発展に貢献していきたいと考えております。

お近くに情報処理に関心をお持ちの方、情報処理関連の学術研究、開発あるいは事業に携わっている方で入会をご希望の方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。インターネットのホームページ（URL-<http://www.ipsj.or.jp/>）では最新の活動案内を掲載し、入会申込も可能となっております。

◆設立の目的

社団法人情報処理学会は、コンピュータを中心とした情報処理に関する学術、技術の進歩発展を図り、学術文化の発展に寄与することを目的として、文部省認可の学術法人として設立されました。以来わが国における情報処理分野の唯一の学会として発展してきました。

◆会員構成と活動概要

会員数は約3万名で、情報処理を専攻している学生から、大学・企業の研究者や技術者、情報機器のユーザーのほか、一般のコンピュータに関心のある人々に至るまで幅広い層の方々が参加しております。専門、専攻分野のみならず、境界分野、新しい分野の学問上、技術上の問題についても、大学や企業の垣根を超えて、活発に討論を行うことにより、最新の知識・情報を得ることができ、交流を深めることができます。これは常に時代を先取りする同志の集まりである学会だからこそ可能なことです。また、地域に密着した活動を展開するため、全国に8つの支部を設けております。

[事業活動]

1. 機関誌の発行

「情報処理」(月刊)：親しみやすく、分かりやすくをモットーに、魅力あるテーマを解説するほか、機関誌として会員相互の交流や啓発、連絡事項等を掲載しています。

「情報処理学会論文誌」(月刊)：会員の原著で他の学術雑誌に未発表の論文を査読し、採択して掲載しています。

2. 全国大会

分野、所属ならびに世代を越えて、情報処理に係わる最新の学術と技術動向や、情報に関する新しい研究成果やアイデアの発表などをし、意見を交換・交流する場として全国大会があります。一般講演に加えて招待講演、公開パネル討論、シンポジウムなど会員にとって新しい研究の情報を得られるテーマを企画し3日間にわたって開催されます(年2回(春、秋))。

3. 調査・研究

情報処理全般にわたる分野で精力的に調査・研究活動を進めており、調査委員会のほか、領域制を設け、3つの領域に研究会・研究グループが所属し、研究発表会、シンポジウム、講習会、セミナー等で積極的に研究・開発を行うとともに成果発表を行い、会員相互間の学術・技術の研修に役立てております。

調査委員会……特定の課題について、調査研究または提言を行います。

領域……コンピュータサイエンス、情報環境、フロンティアの3つの領域を設け、各領域に各研究会・研究グループが所属して活動しています。

研究会……研究分野ごとに会を組織し、会員による研究発表会、研究報告の作成、研究会論文誌の編集を行います。

研究グループ……特定分野の短期集中的研究開発や、新しい研究分野となり得る萌芽的研究を行います。

シンポジウム・講習会・セミナー等……研究分野ごとにテーマを設け、活発に意見・情報の交換をしています。

領域および研究会、研究グループ名

<コンピュータサイエンス>

データベースシステム, ソフトウェア工学, 計算機アーキテクチャ, システムソフトウェアとオペレーティング・システム, 設計自動化, ハイパフォーマンスコンピューティング, プログラミング, アルゴリズム, 数理モデル化と問題解決

<情報環境>

マルチメディア通信と分散処理, ヒューマンインタフェース, グラフィクスとCAD, 情報システムと社会環境, 情報学基礎, 情報メディア, オーディオビジュアル複合情報処理, グループウェア, 分散システム運用技術, デジタル・ドキュメント, モバイル・コンピューティング, コンピュータセキュリティ, システム評価*

<フロンティア>

自然言語処理, 知能と複雑系, コンピュータビジョンとイメージメディア, コンピュータと教育, 人文科学とコンピュータ, 音楽情報科学, 音声言語情報処理, 電子化知的財産・社会基盤

*研究グループ名

4. 情報処理教育委員会

情報処理に関する教育の向上, 発展のための指針, カリキュラム, 方法, 評価などの研究をととして我が国の情報処理学術・技術向上のため活動しています。

- (1) カリキュラム委員会
- (2) アクレディテーション委員会

5. 国際交流

情報処理国際連合 (IFIP) に日本を代表してその創設から加盟しています。また, 東南アジア地域コンピュータ連合 (SEARCC) へ加盟のほかIEEE-CS, ACM, その他各国のコンピュータ関係学協会と提携して国際会議の共催を行うなど国際的視野に立って活動し, 会員に海外学協会等との情報交換の場を提供するとともに日本の情報処理技術の向上に寄与しています。

6. 標準化

ISO (国際標準化機構), IEC (国際電気標準会議) が設立した, JTC 1 (Joint Technical Committee 1) のメンバとして, 情報技術分野に関する国際標準の開発に参加すると共に, JISと国際標準との整合化にも参加しています。また, その活動状況は, 季刊誌「情報技術標準 (Newsletter)」で報告しています。

7. 関連学協会

日本学術会議をはじめ日本工学会傘下の学協会と共催で, シンポジウム, 講習会等を開催し, 学協会相互間の交流ならびに, 会員相互の情報交換を活発に行っております。また, 特に関係の深い電気, 電子情報通信, 照明, 映像情報メディア各学会とは電気・情報関連学協会連合大会を年1回共同で開催しています。

8. 表彰

本会の事業に対する顕著な功労者, 優れた論文の著者, 研究発表者などの会員を対象に, 各種の賞 (功績賞, 論文賞, Best Author賞, 坂井記念特別賞, 山下記念研究賞, 大会優秀賞, 大会奨励賞) を設け, 会員の学術, 技術の向上を奨励しています。

9. 出版

「情報処理ハンドブック」, 「情報フロンティアシリーズ」など情報科学・工学関連分野の出版物の編纂を行っています。

10. 支部

全国に8支部 (北海道・東北・東海・北陸・関西・中国・四国・九州) を設け, 地域の実情にあわせて独自の調査研究活動を行うとともに, それぞれ研究発表会, 講演会, 見学会など地域に密着した活動を行っており, 学会誌の「支部だより」に各支部の活動内容を掲載しています。

11. 情報発信

これらの活動ならびに論文等の情報をWWWの学会ホームページからお知らせしています。

ご入会いただきますと次のような特典があります。おおいにご利用いただき、学術・技術の向上にお役立てください。

[会 員 特 典]

- ・毎月学会誌「情報処理」が配布されます。
 - ・論文誌に投稿*ができます。
 - ・研究会に登録（研究報告配布）・研究発表*ができます。
 - ・会員特価で全国大会での論文発表*ができます。
 - ・本学会が主催、共催、協賛するシンポジウム、講習会、セミナー等の行事に会員特価で参加できます。
 - ・正会員は学術情報センターの情報検索サービスが利用できます。
 - ・ACM会費が20%割引になります。IEEE-CS 準会員の特典が受けられます。
 - ・電気・電子情報通信・照明・映像情報メディア各学会に入会する際、当学会の発行する在会証明書を添付すると入会金の免除が受けられます。
 - ・IAPR NEWSLETTERを配布（有料）します。
 - ・正会員には本会役員選挙権／被選挙権、総会出席権ならびに議決権があります。
 - ・本学会編纂図書が会員価格で購入できます。
 - ・賛助会員は口数により研究会登録等が優遇されます。
- *個人会員の優秀な論文や研究発表者には賞が与えられます。

[会 員 種 別]

- ・個人会員（正会員）……専門の学識または相当の経験を有する者
（学生会員）……大学、短大、高専、専門学校またはこれに準ずる学校の在学生（研究生は除く）
- ・賛助会員 ……本学会の目的事業を賛助する者または団体
- ・海外会員 ……海外学会（ACM、IEEE-CS）の会員で、本学会の目的に賛同し、海外に居住する者

[購 読 員 種 別]

- ・国内購読員 ……大学、教育機関、官公立の研究機関、図書館あるいはこれに準ずる団体、賛助会員である企業の事業所あるいは研究所
- ・海外購読員 ……論文誌のみの購読を希望する海外在住の個人あるいは団体

注) 会員資格はありません。

[入会金・年間会費等について]

	入会金*2	会 費	学会誌	論文誌*3	研究会登録*4
正 会 員	2,000円	9,600円	無料配布	6,930円	有料（毎年改定）
学生会員	免除	4,800円	無料配布	6,930円	有料（毎年改定）
海外会員	-----	5,700円	無料配布	6,600円	有料（毎年改定）
賛助会員*1	-----	1口 50,000円	無料配布	6,930円	口数により優遇
国内購読員*1	-----	-----	1口 28,224円 （学会誌・論文誌セット配布）		-----
海外購読員	-----	-----	-----	6,600円	-----

*1 賛助会員・購読員は何口でも加入できます。

*2 正会員入会希望の方で、電気・電子情報通信・照明・映像情報メディア各学会の方は、入会申込書送付の際に在会証明書を添付していただければ入会金が免除となります。

*3 非会員の論文誌購読費は17,010円（年間）。

*4 研究会登録等詳細については、直接研究会担当までお問い合わせください。

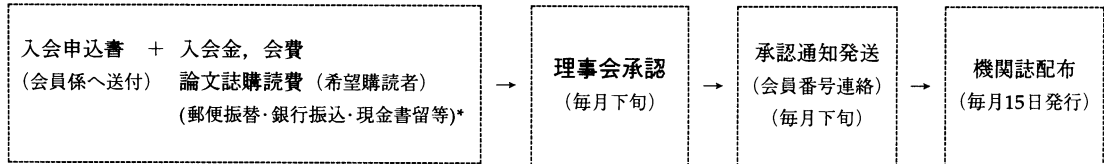
注) 入会金・会費は消費税対象外、その他費用（海外会員費、海外購読員費を除く）は消費税込です。

[正・学生会員の入会手続きについて]

入会手続きは「入会申込書」に所要事項をご記入のうえ事務局会員係宛にご郵送いただくか、インターネットからお申し込みいただき、同時に入会金、年会費も下記口座にお振り込みください。会費は機関誌配布月より充当になります。

入会手續処理は毎月中旬に行い、機関誌配布は入会承認翌月号からの送付となります。(希望により残部のある限り当該年度のバックナンバーを送付いたします)

入会手続きの流れ



注1. 8月は理事会の開催がありませんので翌月の入会承認となります。

注2. 正・学生会員以外の申込手続きにつきましては本部会員係まで、情報規格調査会(標準化)の詳細は分室へお問い合わせください。

*入会後の会費等の振込には手続きが簡単便利な「口座自動振替制度」をご利用ください。

◆振込み先	郵便振替	00150-4-83484
	第一勧業銀行 虎ノ門支店 (普)	1013945
	東京三菱銀行 虎ノ門公務部 (普)	0000608
	名義人 社団法人	情報処理学会

[会員資格等について]

会員資格は、毎年度(4月～翌年3月)自動継続となり、翌年度会費の請求を1月にいたします。会費の滞納が1ヶ年以上におよぶときは、その直後の総会の議決を経て除名することがあります。なお、退会を希望する場合は、退会届(会員番号・氏名・退会年月・退会希望の旨とその理由を明記したもの)を書面等で必ず提出してください(E-mail, FAX可)。

[個人会員の一括扱いについて]

同一事業所または研究所等に10名以上の会員がいる場合には、会員の希望により会費の納入ならびに機関誌の配布を一括扱いにすることができます。詳細は本部会員係までお問い合わせください。

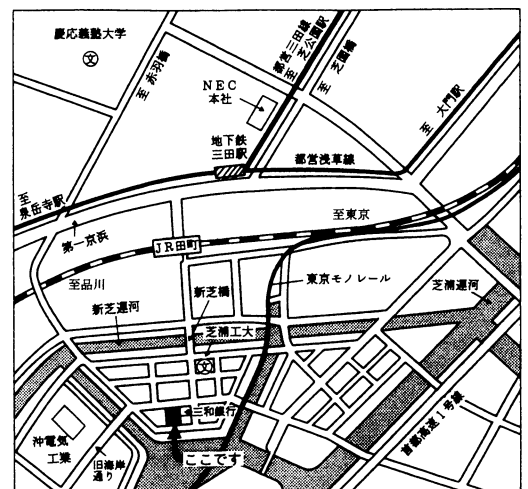
[事務局所在地]

本部
〒108-0023 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
TEL(03)5484-3535 FAX(03)5484-3534
E-mail:mem@ipsj.or.jp
URL:http://www.ipsj.or.jp/

・交通 JR山手線・京浜東北線 田町駅下車(東口)、徒歩5分
地下鉄都営三田線・浅草線 三田駅下車、徒歩7分

分室 (情報規格調査会) 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3
TEL(03)3431-2808 FAX(03)3431-6493
E-mail:standard@itscj.ipsj.or.jp

各支部
北海道
東北(青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島)
東海(静岡, 愛知, 岐阜, 三重, 長野)
北陸(富山, 石川, 福井)
関西(滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山)
中国(鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口)
四国(徳島, 香川, 愛媛, 高知)
九州(福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄)



会費および論文誌購読費の口座自動振替制度のご案内

会費・購読費の納入には、手続きが簡単で便利な口座自動振替をおすすめします。個人会員（一括扱いを除く）の方は、銀行または郵便局の口座をご登録いただければ、会費および論文誌購読費を毎年3月27日（土日、祝祭日の場合は翌営業日）にご指定の口座から自動振替により納入することができます。

ぜひご登録ください。

1. 対象会員：個人会員（一括扱い会員は除く）
2. 口座振替費目：会費・論文誌購読費
3. 振替日：3月または7月の27日（休日の場合は翌営業日）に振替
4. 口座振替案内：1月上旬に振替の案内を郵送します。口座変更や口座自動振替中止の場合はすみやかに下記照会先までご連絡ください。なお、口座変更は新規登録と同様の手続きとなります。

5. 申込方法等

対象の金融機関により次の通り申込方法が異なりますので、ご注意ください。

- 都市銀行、地方銀行、信託銀行、長期信用銀行、信用金庫、労働金庫、外国銀行（日本国内支店）
（信用組合、農協は除く）

(1) 「預金口座振替依頼書」（裏面）にご記入、ご捺印のうえ下記申込先へご郵送ください。

(2) 記入要領

- ・ 太枠内は鮮明にご記入ください。
- ・ 口座名義人：フリガナも必ずご記入ください。
- ・ 銀行へのお届印：鮮明にご捺印ください。捨印にも、必ずご捺印ください。
- ・ 指定口座：銀行番号がわからない場合は、ご記入いただかなくても結構です。

(3) 通帳への記載事項

「ダイヤモンドファクター」「コウザフリカエ」または「DF・ジヨウシヨカイヒ」と印字されます。

- 郵便局

(1) お近くの郵便局に通帳、印鑑をご持参いただき郵便局備付けの「自動振込利用申込書」に必要事項（下記参照）をご記入のうえ窓口へ提出してください。

(2) 必要事項

- ・ 振込先口座番号：00150-4-83484
- ・ 振込先加入者名：社団法人 情報処理学会
- ・ 振込開始月：3月または7月
- ・ 払込日：27日
- ・ 払込金の種類：会費 33
- ・ 料金等支払人：会員の住所、氏名、電話番号（口座名義人と同一の場合省略可）
- ・ 備考：会員番号

(3) 通帳への記載事項

「会費 ジヨウシヨガツカイ」と印字されます。

6. 申込／照会先：（社）情報処理学会 会員係

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

預金口座振替依頼書

銀行 御中
金庫

平成 年 月 日

収納代行会社名：ダイヤモンドファクター株式会社
委託者名：社団法人 情報処理学会

料金等の種類：会費・購読費

委託者番号 **03450** 契約者番号 **015**

ご指定口座（記入要領によりご記入ください）

（左つめで記入し、濁点、半濁点は1字分に抜ってください。なお、個人名義の場合、姓と名の間は1字空けてください）

フリガナ

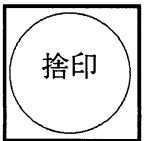
口座名義人 印 銀行へのお届け印

会員番号 会員氏名

指定 口座	銀行 金庫			本店 支店
	銀行 <input type="text"/>	店番号 <input type="text"/>	預金種目 1. 普通座 2. 当座	口座番号 <input type="text"/>

振替日：収納企業の指定する日（銀行休業日の場合は翌営業日）

私は上記の料金等を預金口座振替の方法により収納代行会社ダイヤモンドファクター株式会社を通じて支払うこととしましたので、下記事項を承認のうえ上記口座からの振替を依頼します。



記

- ダイヤモンドファクター（株）より貴行（銀行・金庫）に請求書が送付されたときは、振替日に私あてに通知することなく、請求書記載金額を預金口座から引落しのうえお支払いください。この場合、預金規定または当座勘定規定にかかわらず、預金通帳・同払戻請求書の提出または小切手の提出はしません。
- 振替日において、請求書記載金額が預金口座から払い戻すことのできる金額をこえるときは、私に通知することなく請求書を返却されても差し支えありません。
- この預金口座振替契約は貴行（銀行・金庫）が必要と認めた場合は私に通知することなく解約されても異議ありません。
- この預金口座振替についてかりに疑義が生じて、貴行（銀行・金庫）の責によるものを除き、貴行（銀行・金庫）にはご迷惑をかけません。

金融機関使用欄
口座振替依頼書に不備がございましたら下記へご返却ください。

返却理由	1. 預金取引なし 2. 記載事項等相違 （店名，預金種目，口座番号，口座名義）	4. その他 （ <input type="text"/> ）	
------	--	------------------------------------	--

照 合	受 付	

入会申込書 (正会員・学生会員)

申込日: 年 月 日

会員種別	<input type="checkbox"/> 正会員 <input type="checkbox"/> 学生会員	卒業予定年月: 年 月
氏名 (漢字)		
氏名 (カナ)		
氏名 (ローマ字)		
性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	
生年月日	年 月 日	
機関誌発送先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先(個人) <input type="checkbox"/> 勤務先(一括) グループコード:	
連絡先E-mail		
自宅	住所 〒	
	Tel	
	Fax	
勤務先	住所 〒	
在学	所属	
	Tel	(内線)
	Fax	
	名称	
	所属	
	職種	

○ 専門分野コード表	
チェックは5つまで。名簿掲載可能(1つ)を○で囲んでください。	
大項目	中項目
<input type="checkbox"/> 01基礎理論と基礎技術	<input type="checkbox"/> 01情報数学
	<input type="checkbox"/> 02非線形力学
	<input type="checkbox"/> 03アルゴリズム理論
	<input type="checkbox"/> 04オペレーションズリサーチ
	<input type="checkbox"/> 05確率・統計
	<input type="checkbox"/> 06数値計算
	<input type="checkbox"/> 07数値シミュレーション
<input type="checkbox"/> 02人工知能と認知科学	<input type="checkbox"/> 01知識処理
	<input type="checkbox"/> 02人工知能システム
	<input type="checkbox"/> 03自然言語処理
	<input type="checkbox"/> 04生体情報処理
	<input type="checkbox"/> 05感性情報処理
<input type="checkbox"/> 03メディア情報処理	<input type="checkbox"/> 01音声言語情報処理
	<input type="checkbox"/> 02画像信号処理
	<input type="checkbox"/> 03画像・図形認識
	<input type="checkbox"/> 04コンピュータグラフィクス
	<input type="checkbox"/> 05テキスト処理
	<input type="checkbox"/> 06メディア処理装置
	<input type="checkbox"/> 07マルチメディア処理
<input type="checkbox"/> 04ソフトウェア	<input type="checkbox"/> 01基礎理論
	<input type="checkbox"/> 02プログラミング言語と仕様記述
	<input type="checkbox"/> 03言語処理系
	<input type="checkbox"/> 04ツール
	<input type="checkbox"/> 05ウィンドウシステム
	<input type="checkbox"/> 06オペレーティングシステム
	<input type="checkbox"/> 07プログラミング技術
<input type="checkbox"/> 05データベース	<input type="checkbox"/> 01データベース
	<input type="checkbox"/> 02情報学基礎
<input type="checkbox"/> 06ソフトウェア工学	<input type="checkbox"/> 01開発技術
	<input type="checkbox"/> 02テスト・保守・管理
	<input type="checkbox"/> 03ソフトウェアプロセス
	<input type="checkbox"/> 04開発環境
	<input type="checkbox"/> 05ヒューマンファクタ
	<input type="checkbox"/> 06ソフトウェア品質
<input type="checkbox"/> 07ハードウェア	<input type="checkbox"/> 01基礎理論
	<input type="checkbox"/> 02論理回路
	<input type="checkbox"/> 03デバイス
	<input type="checkbox"/> 04計算機アーキテクチャ
	<input type="checkbox"/> 05メモリ・I/Oアーキテクチャ
	<input type="checkbox"/> 06設計技術と設計自動化
<input type="checkbox"/> 08並列処理	<input type="checkbox"/> 01並列処理アーキテクチャ
	<input type="checkbox"/> 02並列処理ハードウェア
	<input type="checkbox"/> 03並列処理ソフトウェア
	<input type="checkbox"/> 04並列処理応用
<input type="checkbox"/> 09ネットワーク	<input type="checkbox"/> 01通信技術
	<input type="checkbox"/> 02ネットワーク管理
	<input type="checkbox"/> 03コンピュータネットワーク
<input type="checkbox"/> 10システム	<input type="checkbox"/> 01システム技術
	<input type="checkbox"/> 02グループウェア
	<input type="checkbox"/> 03インタフェース
	<input type="checkbox"/> 04対話型システム
	<input type="checkbox"/> 05オンラインリアルタイムシステム
	<input type="checkbox"/> 06制御システム
	<input type="checkbox"/> 07システム評価
<input type="checkbox"/> 11信頼性と安全性	<input type="checkbox"/> 01信頼性
	<input type="checkbox"/> 02機密保護
<input type="checkbox"/> 12教育	<input type="checkbox"/> 01教育
<input type="checkbox"/> 13応用	<input type="checkbox"/> 01企業等への応用
	<input type="checkbox"/> 02工学等への応用
	<input type="checkbox"/> 03音楽への応用
	<input type="checkbox"/> 04人文科学への応用
	<input type="checkbox"/> 05障害者補助
	<input type="checkbox"/> 06その他への応用
<input type="checkbox"/> 14その他	<input type="checkbox"/> 01社会
	<input type="checkbox"/> 02その他

DM 要 不要

也学会在会

<input type="checkbox"/> 電子情報通信学会	会員No.
<input type="checkbox"/> 電気学会	会員No.
<input type="checkbox"/> 照明学会	会員No.
<input type="checkbox"/> 映像情報メディア学会	会員No.
<input type="checkbox"/> その他	会員No.

*上記4学会に在会の方は、「在会証明書」を添付してください。入会金が免除になります。

卒業学校名 卒業年月 年 月

入会の動機

重要事項

バックナンバー 学会誌: 月号~ 論文誌: 月号~

主.入会時にお支払の会費・論文誌購読費はバックナンバー希望月から充当します。バックナンバーを希望しない場合は入会承認の翌月号から配布となります。

送金(予定)日	月	日	入会時費用一覧	
依頼内訳	正会員 学生会員			
入会金	¥		入会金 : ¥2,000	入会金 : 免除
会費	¥		正会員費 : ¥9,600	学生会員費 : ¥4,800
論文誌購読費	¥		論文誌購読費 : ¥6,930 (希望購読)	
合計	¥			

送金方法 郵便振替00150-4-83484
第一勧業銀行虎ノ門支店 (普)1013945
東京三菱銀行虎ノ門公務部(普)0000608
現金書留 現金持参

*入会後の会費等の振込には、「口座自動振替制度」を是非ご利用ください。

必要書類 請求書 通 納品書 通 見積書 通
郵便振替用紙

【要領】
欄は該当するものにチェックしてください。
 英数字ははっきりわかりやすく記入してください。
 難解なものには(フリガナ)等を付けてください。
 例. 英文字の0 (オ)と数字の0 (ゼロ), 英文字の1 (エ)と数字の1 (イチ)
 ○は名簿掲載選択項目ですので, 掲載不可の場合は, ○の上に×を記入してください。
 ●は名簿掲載必須項目です。
 性別, 生年月日, 卒業学校名・卒業年月については, 必須データではありませんが, なるべくご記入ください。

[入会方法]

- (1) 「入会申込書」に必要事項をご記入のうえ事務局会員係宛に郵便またはFaxで送ってください。インターネットからのお申込の場合には、ホームページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) の「入会申込書」をご利用ください。
- (2) 申込と同時に入会金、会費等もお振り込みください。
- (3) 入会締切は毎月中旬で、理事会承認後に「入会承認通知」にて会員番号をお知らせいたします。その際、定款を同封いたしますので、内容をご確認ください。

◆平成10年度

	入会金	会費	学会誌	論文誌	研究会登録
正会員	2,000円	9,600円	無料配付	6,930円*	有料(毎年改定)*
学生会員	免除	4,800円	無料配付	6,930円*	有料(毎年改定)*
海外会員	—	5,700円	無料配付	6,600円	有料(毎年改定)*
賛助会員	—	1口 50,000円	無料配付	6,930円*	口数により優遇*
国内講読員	—	—	1口 28,224円(学・論セット)*	—	—
海外講読員	—	—	—	6,600円	—

*は、消費税込の金額となります。

- ◆振込口座 郵便振替 00150-4-83484
 第一勧業銀行 虎ノ門支店 (普) 1013945
 東京三菱銀行 虎ノ門公務部 (普) 0000608
 名義人 社団法人 情報処理学会

[会費等の支払方法]

入会后、次年度以降の会費等の振込には、「口座自動振替制度」を是非ご利用ください。

[会員資格]

会員資格は、毎年度(4月～翌年3月)自動継続となります。

退会、死亡、除名*1等によりその資格を喪失します。

*1.会費の滞納が1ヶ年以上におよぶ時は、その直後の総会の議決を経て除名することがあります。

[変更連絡/退会/各種問合せ方法]

各種連絡/問合せには、なるべくE-mail, Fax, 郵便をご利用ください。

- (1) 住所等会員データに変更が生じた場合には、速やかに「変更連絡届」(情報処理付録掲載)の書式に従い変更内容を会員係に連絡してください。
- (2) 退会を希望する場合は、「退会届」(会員番号・氏名・退会年月・退会理由)を必ず会員係に提出してください。
- (3) その他の各種問合せについては、該当する係にご連絡ください。

◆各種問合せ先

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
 Tel 03-5484-3535 Fax 03-5484-3534

担当係	E-mail	項目
会員	mem@ipsj.or.jp	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明
研究会	sig@ipsj.or.jp	研究会登録、研究発表会、シンポジウム
事業	jigy@ipsj.or.jp	全国大会、連続セミナー
図書	tosho@ipsj.or.jp	出版物購入
学会誌編集	editj@ipsj.or.jp	学会誌「情報処理」の掲載内容
論文誌編集	editt@ipsj.or.jp	「情報処理学会論文誌」への投稿
規格	standard@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel(03)3431-2808 Fax(03)3431-6493